

平成 22 年度 ヒヤリ・ハット調査

「誤飲による乳幼児の危険」

(インターネットアンケート)



平成22年10月

東京都生活文化局消費生活部

目 次

1. 調査目的	1
2. 調査概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査時期	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査内容	1
(5) 回答者の属性	1
(6) 回答者の子供の属性	2
(7) 集計・分析にあたって	2
3. 調査結果	3
(1) 誤飲経験の有無	3
ア 誤飲経験の有無(全体)	3
イ 品目別誤飲経験の有無	4
(2) 医療機関受診状況	8
ア 医療機関受診状況(全体)	8
イ 医療機関受診が多い品目	9
(3) 誤飲時の年齢・性別	12
ア 誤飲時の年齢・性別(全体)	12
イ 年齢別にみた誤飲が多い品目	13
(4) 品目別に見た誤飲の状況	21
ア 玩具	21
イ 紙類	24
ウ シール	26
エ 医薬品	28
オ タバコ	31
カ 石鹸・化粧品・歯磨き等	33
キ ペットボトルのふた	36
ク 硬貨	38
ケ 乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等	40
コ 電池	42
サ ポリ袋	45
シ 洗剤・漂白剤等	48
ス その他	50
4. まとめ	52
5. 結果の活用	52

1. 調査目的

平成 21 年度調査「幼児の身の回りの危険」で収集されたヒヤリ・ハット事例のうち、誤飲事故は、日常生活の様々な場面で起きていることがわかった。そこで、乳幼児の誤飲について詳細な調査を行った。

2. 調査概要

(1) 調査対象

東京都に居住する 0 歳から 6 歳までの子供がいる人 2,000 人
(インターネットアンケート登録モニター)

(2) 調査時期

平成 22 年 7 月 15 日(木)から 7 月 22 日(木)まで

(3) 調査方法

インターネットによるアンケート形式で実施

(4) 調査内容

本調査では、0 歳～6 歳の子供がいる人を対象に、子供の年齢が 0 歳～6 歳までの間の誤飲経験の有無、医療機関受診状況、誤飲時の年齢・性別、誤飲したときの状況等について調査した。また、実際に誤飲した経験だけでなく、誤飲しそうになった経験も含めて調査を行った。なお、本調査では、異物を誤って飲み込み消化管に入った事例(消化管異物)の他、異物が誤って気道内に入った事例(気道異物)についても「誤飲」としている。

誤飲しそうになった(ヒヤリ・ハット)

異物を飲み込みそうになった事例。「口に入れそうになった」「口に入れたが飲み込まなかった」が該当する。

誤飲した(危害)

実際に異物を飲み込んでしまった事例。

(5) 回答者の属性

男女別	男性 33.3% (666 人) 女性 66.7% (1,334 人)
年齢	20 代 : 11.4% (228 人) 30 代 : 62.6% (1,252 人) 40 代 : 25.2% (503 人) 50 代以上 : 0.9% (17 人)

(6) 回答者の子供の属性

男女別	男の子 51.8% (1,648人) 女の子 48.2% (1,532人)
年齢	0歳(6ヶ月未満): 4.9% (157人) 0歳(6ヶ月~1歳未満): 5.6% (179人) 1歳: 11.4% (363人) 2歳: 12.6% (402人) 3歳: 12.2% (387人) 4歳: 11.7% (372人) 5歳: 11.2% (356人) 6歳: 12.2% (389人) 7歳以上: 18.1% (575人)

年齢は、アンケート実施時の年齢である。0歳~6歳の子供が「少なくとも1人いる人」を対象としているため、子供の人数は2,000人以上になり、アンケート実施時の年齢が7歳以上の子供もいる。

(7) 集計・分析にあたって

ア 回答比率は、少数第2位を四捨五入して算出した。

イ 図に表記される「N=*」(*は数字)は、対象の母数を示す。

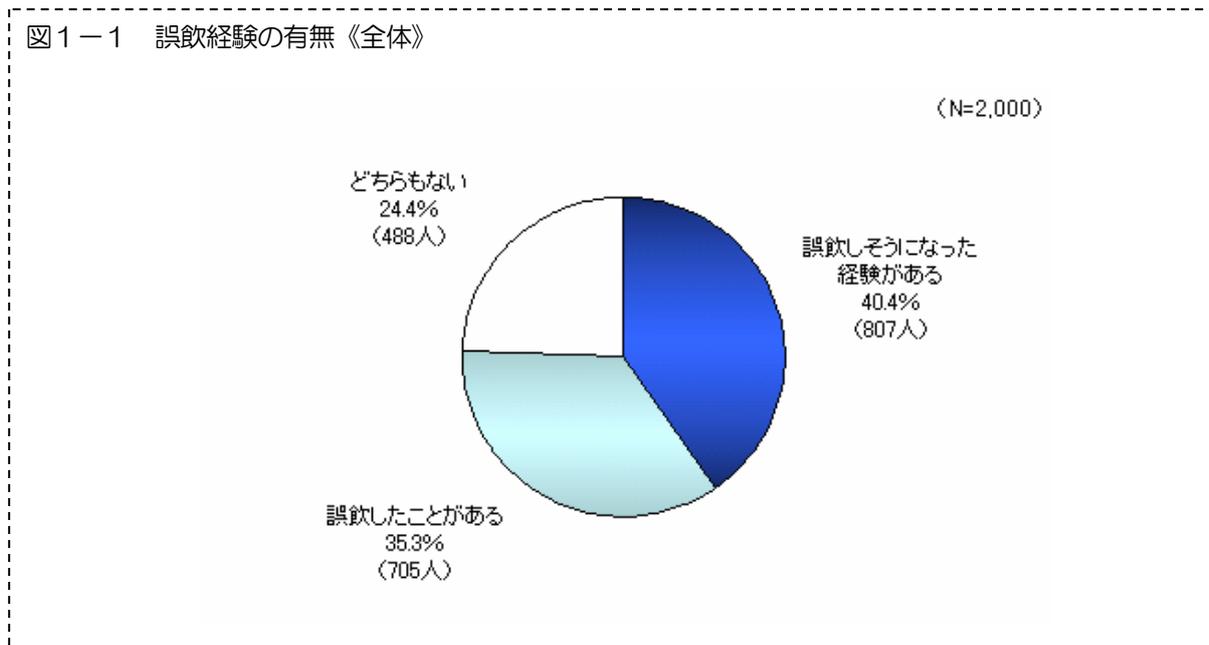
3. 調査結果

(1) 誤飲経験の有無

ア 誤飲経験の有無（全体）

[図1-1]は、2,000人の保護者の誤飲経験の有無を集計した結果である。全体で見ると、「誤飲しそうになった経験がある」が40.4%（807人）、「誤飲した経験がある」が35.3%（705人）で75.6%（1,512人）の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

図1-1 誤飲経験の有無《全体》

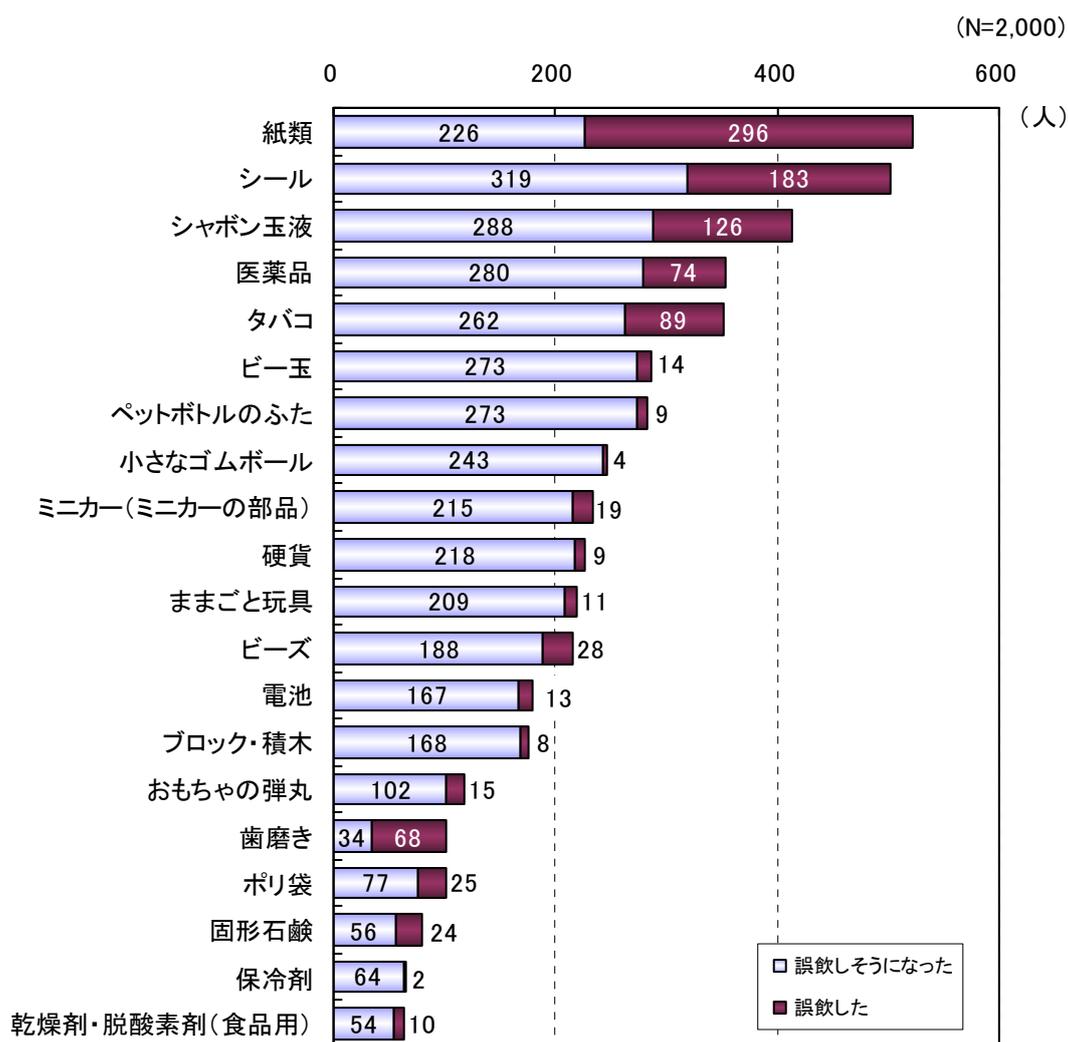


イ 品目別誤飲経験の有無

〔図1-2〕は、〔表1-1〕に示す品目について、「誤飲しそうになった経験がある」または「誤飲した経験がある」と回答した保護者の数が多い品目を示したものである。

「誤飲しそうになった経験がある」と「誤飲したことがある」を合わせた経験者数は、『紙類』が2,000人中522人（誤飲しそうになった：226人、誤飲した：296人）で最も多く、次に『シール』502人（誤飲しそうになった：319人、誤飲した：183人）、『シャボン玉液』414人（誤飲しそうになった：288人、誤飲した：126人）と続いている。

図1-2 品目別誤飲経験の有無（経験者数上位20位）



〔図1-3〕は、〔表1-1〕に示す品目について、「誤飲しそうになった経験がある」または「誤飲した経験がある」と回答した件数が多い品目を示したものである。

「誤飲しそうになった経験がある」と「誤飲したことがある」を合わせた件数は、『紙類』が522件（誤飲しそうになった：226件、誤飲した：296件）で最も多く、次に『シール』502件（誤飲しそうになった：319件、誤飲した：183件）『シャボン玉液』414件（誤飲しそうになった：288件、誤飲した：126件）と続いている。

図1-3 品目別誤飲経験の有無（上位20位）

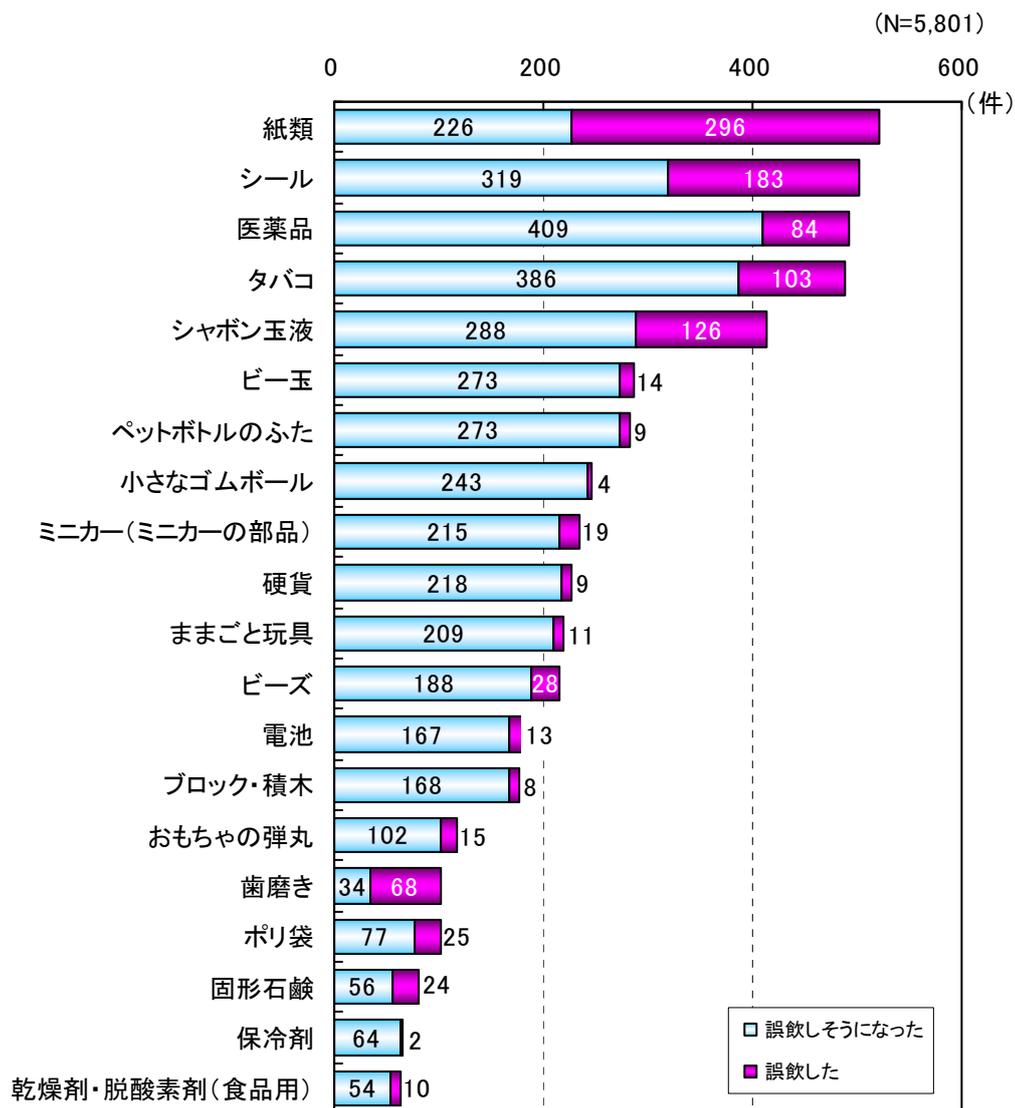


表1-1 品目別誤飲経験の有無集計表

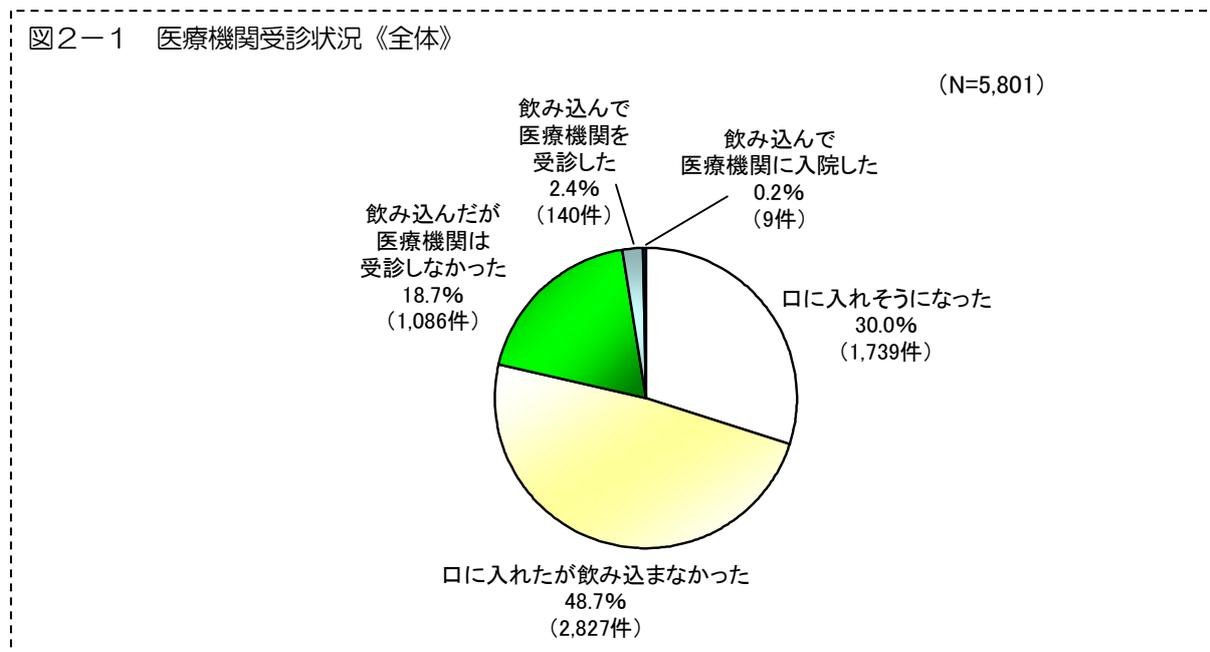
	誤飲しそうになった経験がある	誤飲した経験がある	どちらもない	「誤飲しそうになった」、「誤飲した」の合計
全体【経験者数】	807	705	488	1,512
(1)玩具	691	222	1,087	913
① シャボン玉液	288	126	1,586	414
② ビー玉	273	14	1,713	287
③ 小さなゴムボール	243	4	1,753	247
④ ミニカー(ミニカーの部品)	215	19	1,766	234
⑤ ままごと玩具 ※食べ物の形をした玩具	209	11	1,780	220
⑥ ビーズ	188	28	1,784	216
⑦ ブロック・積木	168	8	1,824	176
⑧ おもちゃの弾丸	102	15	1,883	117
⑨ 磁石を使った玩具 ※釣りの玩具等	21	4	1,975	25
⑩ ケミカルライト	20	1	1,979	21
⑪ その他の小型玩具 ※粘土、パズル等	82	37	1,881	119
玩具【小計】	1,809	267	19,924	2,076
(2)紙類 ※ティッシュ、新聞紙等	226	296	1,478	522
(3)シール	319	183	1,498	502
(4)医薬品	280	74	1,646	354
① 外皮用薬	144	23	1,833	167
② 風邪薬	113	20	1,867	133
③ 眼科用剤・耳鼻科用剤	85	8	1,907	93
④ 胃腸薬	31	8	1,961	39
⑤ その他の医薬品	36	25	1,939	61
医薬品【小計】	409	84	9,507	493
(5)タバコ	262	89	1,649	351
① 未使用のタバコ	158	53	1,789	211
② 使用済みのタバコ(吸い殻)	169	38	1,793	207
③ タバコの浸出液	50	10	1,940	60
④ その他のタバコ	9	2	1,989	11
タバコ【小計】	386	103	7,511	489
(6)石鹸・化粧品・歯磨き等	165	127	1,708	292
① 歯磨き	34	68	1,898	102
② 固形石鹸	56	24	1,920	80
③ 化粧品 ※口紅、化粧水等	38	24	1,938	62
④ ボディーシャンプー	38	14	1,948	52
⑤ 入浴剤	35	5	1,960	40
⑥ シャンプー・リンス・コンディショナー	28	10	1,962	38
⑦ マニキュア・マニキュア除去液	9	1	1,990	10
⑧ その他の化粧品等 ※ハンドクリーム等	10	5	1,985	15
石鹸・化粧品・歯磨き等【小計】	248	151	15,601	399
(7)ペットボトルのふた	273	9	1,718	282
(8)硬貨	218	9	1,773	227

	誤飲しそうになった経験がある	誤飲した経験がある	どちらもない	「誤飲しそうになった」、「誤飲した」の合計
(9) 電池	167	13	1,820	180
(10) 乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等	139	16	1,845	155
① 保冷剤	64	2	1,934	66
② 乾燥剤・脱酸素剤(食品用)	54	10	1,936	64
③ 殺虫剤	36	1	1,963	37
④ 消臭剤・防臭剤	7	2	1,991	9
⑤ 衣料用防虫剤	7	2	1,991	9
⑥ その他の乾燥剤等 ※靴の乾燥剤等	4	1	1,995	5
乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等【小計】	172	18	11,810	190
(11) ポリ袋 ※菓子の袋、レジ袋等	77	25	1,898	102
(12) 洗剤・漂白剤等	32	13	1,955	45
① 風呂用洗剤	16	1	1,983	17
② 食器洗い用洗剤	11	3	1,986	14
③ 衣料用洗剤	9	4	1,987	13
④ 漂白剤(食器用)	10	2	1,988	12
⑤ トイレ用洗剤	6	1	1,993	7
⑥ カビ取り剤	6	—	1,994	6
⑦ 漂白剤(衣類用)	1	2	1,997	3
⑧ その他の洗剤等 ※柔軟剤等	4	—	1,996	4
洗剤・漂白剤等【小計】	63	13	15,924	76
(13) その他	166	62	1,772	228
① アクセサリー ※髪飾り、指輪等	33	9	1,958	42
② 磁石	33	3	1,964	36
③ ケーキの飾り	25	2	1,973	27
④ 磁気治療器	2	—	1,998	2
⑤ その他家庭用品 ※携帯ストラップ・消しゴム等	106	50	1,844	156
その他【小計】	199	64	9,737	263
【合計】	4,566	1,235	100,199	5,801

(2) 医療機関受診状況

ア 医療機関受診状況(全体)

[図2-1]は、医療機関受診状況を集計した結果である。全体でみると、「口に入れたが飲みまななかった」が48.7%(2,827件)で最も多く、次に「口に入れそうになった」が30.0%(1,739件)、「飲み込んだが医療機関は受診しなかった」が18.7%(1,086件)、「飲み込んで医療機関に入院した」が0.2%(9件)と続いている。



イ 医療機関受診が多い品目

〔図2-2〕は、〔表2-1〕に示す品目について、「飲み込んで医療機関を受診した」または「飲み込んで医療機関に入院した」と回答した件数が多い品目を示したものである。

「飲み込んで医療機関を受診した」と「飲み込んで医療機関に入院した」を合わせた件数は、『タバコ』が46件（受診：43件、入院：3件）で最も多く、次に『医薬品』が23件（受診：22件、入院：1件）、『ビー玉』が8件（受診：8件、入院：0件）、『シール』7件（受診：6件、入院：1件）と続いている。

図2-2 医療機関受診が多い品目（上位10位）

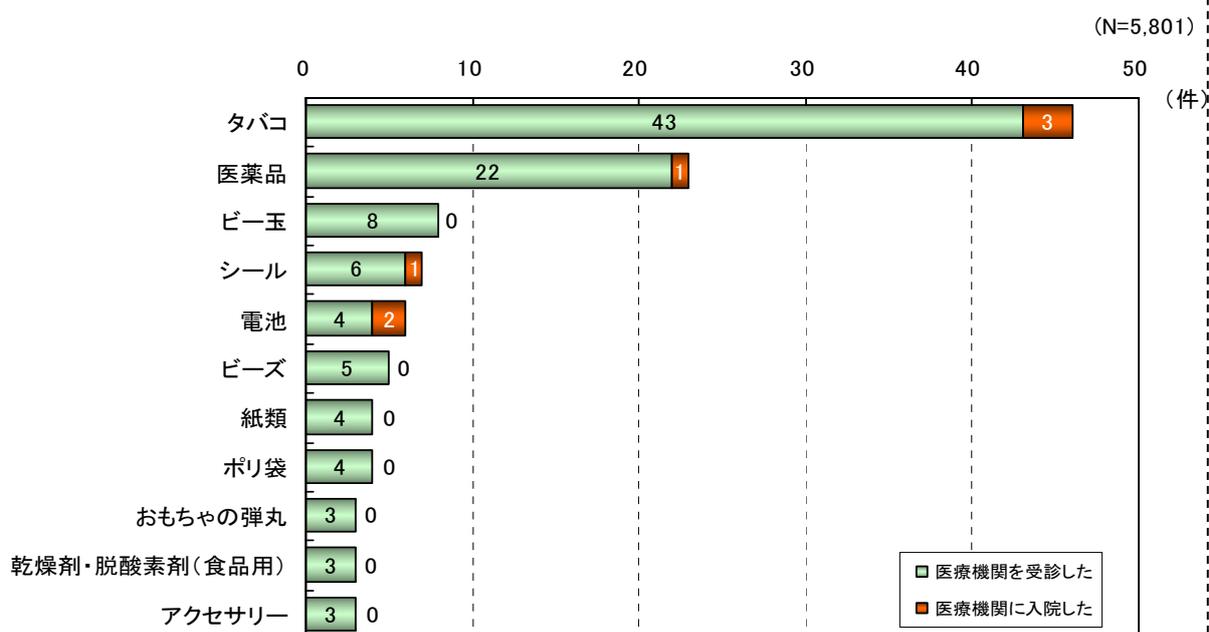


表2-1 品目別医療機関受診状況集計表

	合計	口に入れ そうになっ た	口に入れ たが飲み 込まな かった	飲み込ん だが医療 機関は受 診しな かった	飲み込ん で医療機 関を受診 した	飲み込ん で医療機 関に入院 した
(1)玩具						
① シャボン玉液	414	153	135	124	2	—
② ビー玉	287	81	192	6	8	—
③ 小さなゴムボール	247	48	195	3	1	—
④ ミニカー(ミニカーの部品)	234	38	177	17	2	—
⑤ ままごと玩具 ※食べ物 _の 形をした玩具	220	34	175	10	1	—
⑥ ビーズ	216	59	129	23	5	—
⑦ ブロック・積木	176	38	130	7	1	—
⑧ おもちゃの弾丸	117	46	56	12	3	—
⑨ 磁石を使った玩具 ※釣りの玩具等	25	5	16	4	—	—
⑩ ケミカルライト	21	11	9	1	—	—
⑪ その他の小型玩具 ※粘土、パズル等	119	11	71	33	4	—
玩具【小計】	2,076	524	1,285	240	27	—
(2)紙類 ※ティッシュ・新聞紙等	522	21	205	292	4	—
(3)シール	502	55	264	176	6	1
(4)医薬品						
① 外皮用薬	167	105	39	21	2	—
② 風邪薬	133	90	23	10	10	—
③ 眼科用剤・耳鼻科用剤	93	64	21	7	1	—
④ 胃腸薬	39	25	6	5	3	—
⑤ その他の医薬品	61	21	15	18	6	1
医薬品【小計】	493	305	104	61	22	1
(5)タバコ						
① 未使用のタバコ	211	118	40	29	23	1
② 使用済みのタバコ(吸い殻)	207	136	33	19	17	2
③ タバコの浸出液	60	44	6	7	3	—
④ その他のタバコ	11	9	—	2	—	—
タバコ【小計】	489	307	79	57	43	3
(6)石鹸・化粧品・歯磨き等						
① 歯磨き	102	16	18	68	—	—
② 固形石鹸	80	33	23	24	—	—
③ 化粧品 ※口紅、化粧水等	62	20	18	23	1	—
④ ボディーシャンプー	52	20	18	14	—	—
⑤ 入浴剤	40	17	18	5	—	—
⑥ シャンプー・リンス・コンディショナー	38	14	14	10	—	—
⑦ マニキュア・マニキュア除去液	10	4	5	—	1	—
⑧ その他の化粧品等 ※ハンドクリーム等	15	5	5	5	—	—
石鹸・化粧品・歯磨き等【小計】	399	129	119	149	2	—
(7)ペットボトルのふた	282	42	231	8	1	—
(8)硬貨	227	76	142	8	1	—

	合計	口に入れ そうになっ た	口に入れ たが飲み 込まな かった	飲み込ん だが医療 機関は受 診しな かった	飲み込ん で医療機 関を受診 した	飲み込ん で医療機 関に入院 した
(9) 乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等						
① 保冷剤	66	23	41	1	—	1
② 乾燥剤・脱酸素剤(食品用)	64	41	13	7	3	—
③ 殺虫剤	37	28	8	1	—	—
④ 消臭剤・防臭剤	9	6	1	2	—	—
⑤ 衣料用防虫剤	9	2	5	—	2	—
⑥ その他の乾燥剤等 ※靴の乾燥剤等	5	3	1	1	—	—
乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等【小計】	190	103	69	12	5	1
(10) 電池	180	80	87	7	4	2
(11) ポリ袋 ※レジ袋、菓子の袋等	102	5	72	21	4	—
(12) 洗剤・漂白剤等						
① 風呂用洗剤	17	11	5	1	—	—
② 食器洗い用洗剤	14	10	1	1	2	—
③ 衣料用洗剤	13	9	—	3	1	—
④ 漂白剤(食器用)	12	7	3	—	2	—
⑤ トイレ用洗剤	7	5	1	—	1	—
⑥ カビ取り剤	6	4	2	—	—	—
⑦ 漂白剤(衣類用)	3	—	1	1	1	—
⑧ その他の洗剤等 ※柔軟剤等	4	3	1	—	—	—
洗剤・漂白剤等【小計】	76	49	14	6	7	—
(13) その他						
① アクセサリー ※髪飾り、指輪等	42	8	25	6	3	—
② 磁石	36	5	28	2	1	—
③ ケーキの飾り	27	10	15	2	—	—
④ 磁気治療器	2	1	1	—	—	—
⑤ その他家庭用品 ※携帯ストラップ・消しゴム等	156	19	87	39	10	1
その他【小計】	263	43	156	49	14	1
【合計】	5,801	1,739	2,827	1,086	140	9

(3) 誤飲時の年齢・性別

ア 誤飲時の年齢・性別（全体）

〔図3-1〕は、〔表3-1〕に示す誤飲時の年齢を集計した結果である。「1歳」が2,353件（誤飲しそうになった：1,911件、誤飲した：442件）で最も多く、次に「0歳」が1,825件（誤飲しそうになった：1,363件、誤飲した：462件）と続いている。

〔図3-2〕は、〔表3-1〕に示す男女分布を集計した結果である。「男の子」の事例が57.9%（3,358件）、「女の子」の事例が42.1%（2,443件）と「男の子」の事例のほうが多い。

図3-1 誤飲時の年齢《全体》

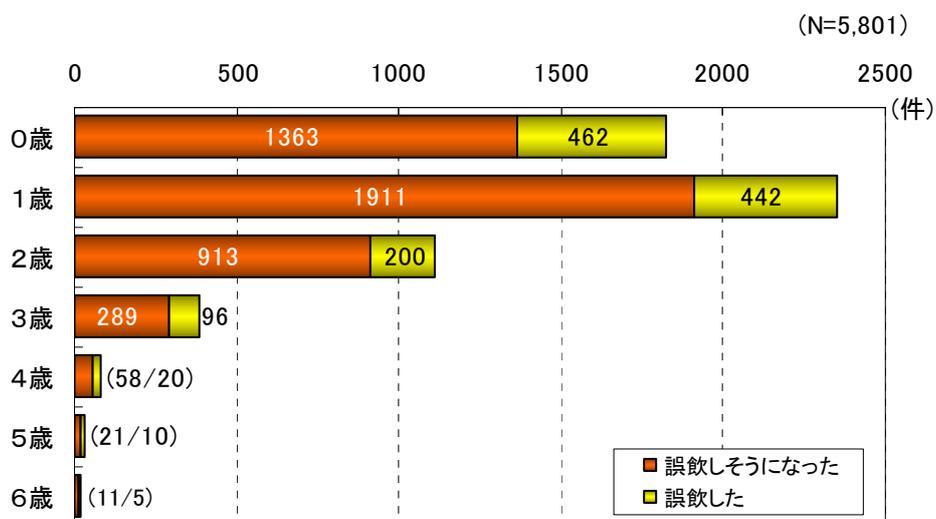
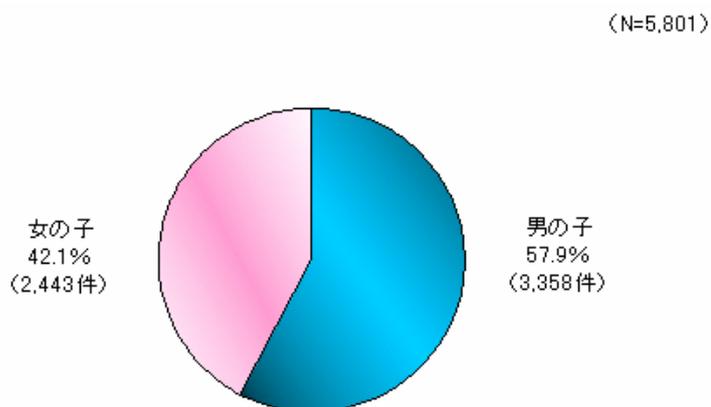


図3-2 男女分布《全体》

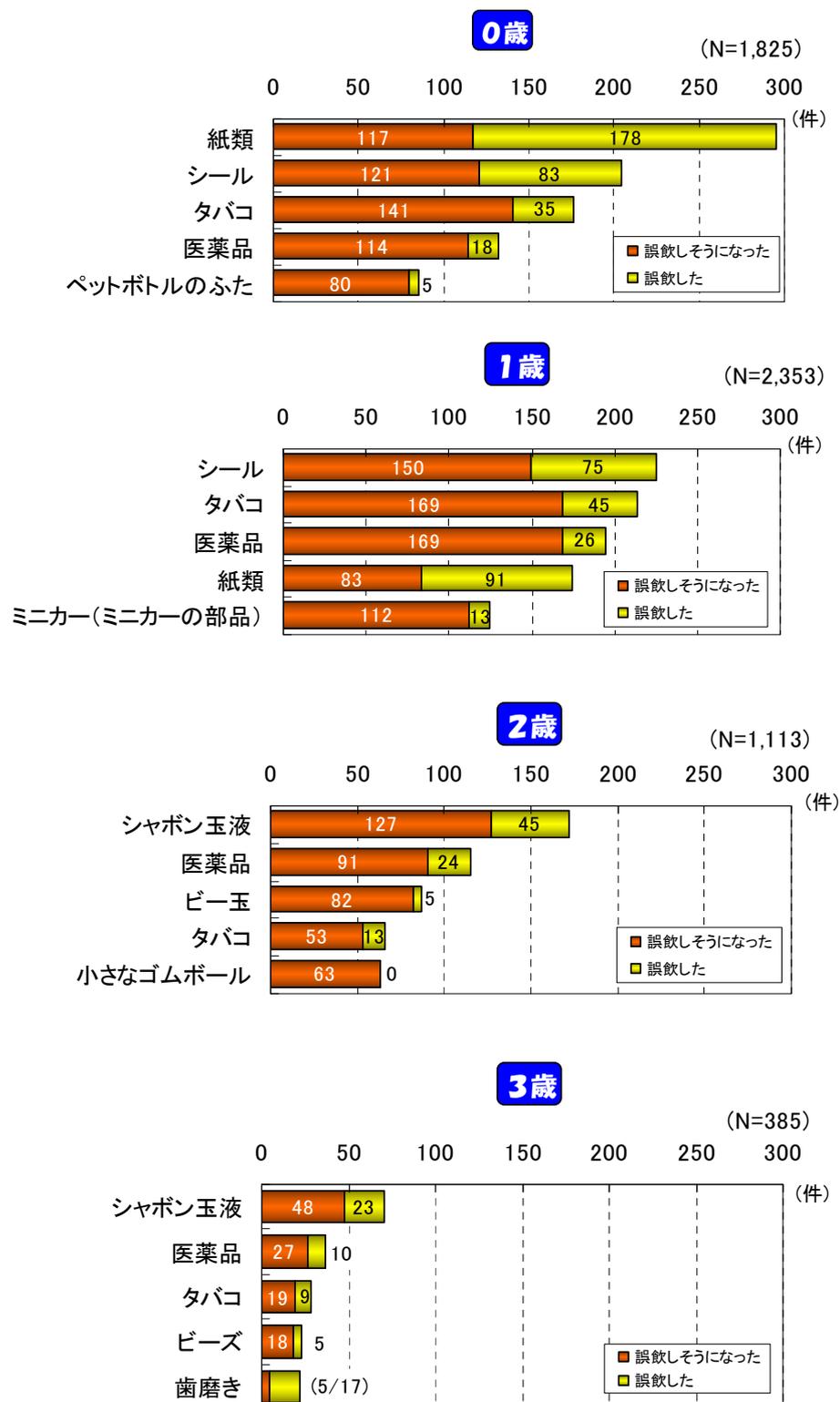


イ 年齢別にみた誤飲が多い品目

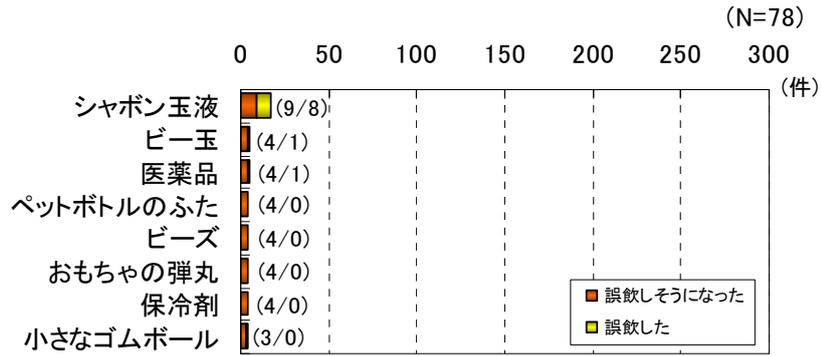
〔図3-3〕は、誤飲時の年齢別に「誤飲しそうになった」または「誤飲した」件数が多い品目を示したものである。

「0歳」では『紙類』、「1歳」では『シール』、「2歳」～「4歳」では『シャボン玉液』、「5歳」では『医薬品』が最も多い。

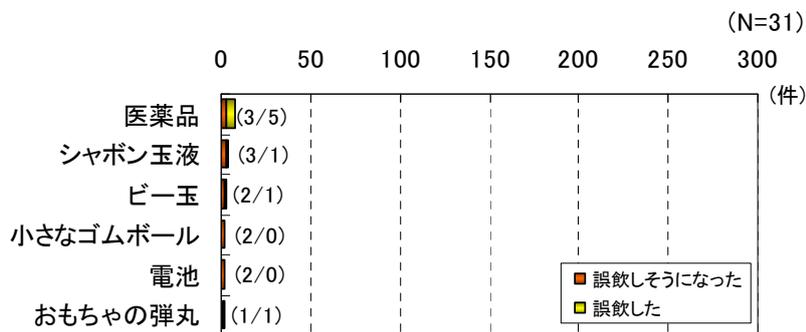
図3-3 年齢別誤飲経験が多い品目（上位5位）



4歳



5歳



6歳

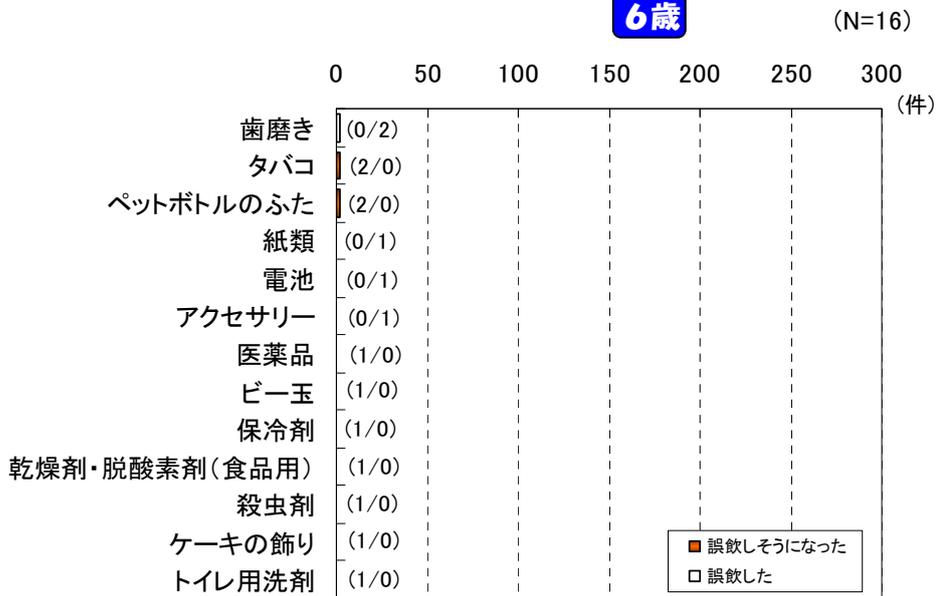


表3-1 品目別誤飲時の年齢・性別集計表

	合計	男の子	女の子	年齢別(男女計)								
				0歳	6ヶ月 未満	6ヶ月 ～1 歳未 満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
(1)玩具												
① シャボン玉液	414	219	195	29	2	27	121	172	71	17	4	—
誤飲しそうな経験がある	288	154	134	21	1	20	80	127	48	9	3	—
誤飲した経験がある	126	65	61	8	1	7	41	45	23	8	1	—
② ビーズ	287	170	117	72	11	61	107	87	12	5	3	1
誤飲しそうな経験がある	273	162	111	67	9	58	106	82	11	4	2	1
誤飲した経験がある	14	8	6	5	2	3	1	5	1	1	1	—
③ 小さなゴムボール	247	150	97	64	6	58	96	63	18	4	2	—
誤飲しそうな経験がある	243	148	95	62	6	56	95	63	18	3	2	—
誤飲した経験がある	4	2	2	2	—	2	1	—	—	1	—	—
④ ミニカー(ミニカーの部品)	234	196	38	60	4	56	125	44	5	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	215	179	36	57	4	53	112	41	5	—	—	—
誤飲した経験がある	19	17	2	3	—	3	13	3	—	—	—	—
⑤ ままごと玩具※食べ物形の玩具	220	119	101	60	7	53	104	43	11	1	1	—
誤飲しそうな経験がある	209	112	97	56	4	52	99	41	11	1	1	—
誤飲した経験がある	11	7	4	4	3	1	5	2	—	—	—	—
⑥ ビーズ	216	97	119	70	8	62	73	45	23	4	1	—
誤飲しそうな経験がある	188	81	107	63	8	55	63	39	18	4	1	—
誤飲した経験がある	28	16	12	7	—	7	10	6	5	—	—	—
⑦ ブロック・積木	176	110	66	65	14	51	69	33	8	1	—	—
誤飲しそうな経験がある	168	106	62	59	11	48	69	31	8	1	—	—
誤飲した経験がある	8	4	4	6	3	3	—	2	—	—	—	—
⑧ おもちゃの弾丸	117	86	31	20	2	18	45	28	18	4	2	—
誤飲しそうな経験がある	102	75	27	18	1	17	41	26	12	4	1	—
誤飲した経験がある	15	11	4	2	1	1	4	2	6	—	1	—
⑨ 磁石を使った玩具※釣りの玩具等	25	15	10	9	2	7	8	4	3	1	—	—
誤飲しそうな経験がある	21	13	8	8	1	7	7	4	1	1	—	—
誤飲した経験がある	4	2	2	1	1	—	1	—	2	—	—	—
⑩ ケミカルライト	21	12	9	6	1	5	9	2	2	2	—	—
誤飲しそうな経験がある	20	11	9	6	1	5	8	2	2	2	—	—
誤飲した経験がある	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
⑪ その他の小型玩具※粘土、パズル等	119	76	43	34	—	34	50	26	5	4	—	—
誤飲しそうな経験がある	82	50	32	24	—	24	34	19	4	1	—	—
誤飲した経験がある	37	26	11	10	—	10	16	7	1	3	—	—
玩具【小計】	2,076	1,250	826	489	57	432	807	547	176	43	13	1
誤飲しそうな経験がある	1,809	1,091	718	441	46	395	714	475	138	30	10	1
誤飲した経験がある	267	159	108	48	11	37	93	72	38	13	3	—
(2)紙類 ※ティッシュ・新聞紙等	522	271	251	295	27	268	174	38	12	2	—	1
誤飲しそうな経験がある	226	117	109	117	12	105	83	20	5	1	—	—
誤飲した経験がある	296	154	142	178	15	163	91	18	7	1	—	1

	合計	男の子	女の子	年齢別(男女計)								
				0歳	6ヶ月 未満	6ヶ月 ～1 歳未 満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
(3)シール	502	247	255	204	21	183	225	59	13	—	1	—
誤飲しそうになった経験がある	319	151	168	121	11	110	150	38	9	—	1	—
誤飲した経験がある	183	96	87	83	10	73	75	21	4	—	—	—
(4)医薬品												
① 外皮用薬	167	94	73	57	6	51	74	26	8	1	1	—
誤飲しそうになった経験がある	144	84	60	50	5	45	65	20	7	1	1	—
誤飲した経験がある	23	10	13	7	1	6	9	6	1	—	—	—
② 風邪薬	133	70	63	22	4	18	44	45	16	1	4	1
誤飲しそうになった経験がある	113	62	51	20	2	18	40	37	12	1	2	1
誤飲した経験がある	20	8	12	2	2	—	4	8	4	—	2	—
③ 眼科用剤・耳鼻科用剤	93	55	38	31	3	28	37	20	4	1	—	—
誤飲しそうになった経験がある	85	50	35	30	3	27	35	15	4	1	—	—
誤飲した経験がある	8	5	3	1	—	1	2	5	—	—	—	—
④ 胃腸薬	39	19	20	12	1	11	14	6	5	1	1	—
誤飲しそうになった経験がある	31	16	15	10	1	9	11	6	3	1	—	—
誤飲した経験がある	8	3	5	2	—	2	3	—	2	—	1	—
⑤ その他の医薬品	61	39	22	10	1	9	26	18	4	1	2	—
誤飲しそうになった経験がある	36	25	11	4	—	4	18	13	1	—	—	—
誤飲した経験がある	25	14	11	6	1	5	8	5	3	1	2	—
医薬品【小計】	493	277	216	132	15	117	195	115	37	5	8	1
誤飲しそうになった	409	237	172	114	11	103	169	91	27	4	3	1
誤飲したことがある	84	40	44	18	4	14	26	24	10	1	5	—
(5)タバコ												
① 未使用のタバコ	211	131	80	85	10	75	79	29	15	1	1	1
誤飲しそうになった経験がある	158	102	56	63	8	55	58	27	8	—	1	1
誤飲した経験がある	53	29	24	22	2	20	21	2	7	1	—	—
② 使用済みのタバコ(吸い殻)	207	131	76	66	6	60	107	25	8	1	—	—
誤飲しそうになった経験がある	169	105	64	57	4	53	87	17	7	1	—	—
誤飲した経験がある	38	26	12	9	2	7	20	8	1	—	—	—
③ タバコの浸出液	60	39	21	22	5	17	23	9	5	—	—	1
誤飲しそうになった経験がある	50	31	19	19	3	16	19	7	4	—	—	1
誤飲した経験がある	10	8	2	3	2	1	4	2	1	—	—	—
④ その他のタバコ	11	8	3	3	1	2	5	3	—	—	—	—
誤飲しそうになった経験がある	9	6	3	2	—	2	5	2	—	—	—	—
誤飲した経験がある	2	2	—	1	1	—	—	1	—	—	—	—
タバコ【小計】	489	309	180	176	22	154	214	66	28	2	1	2
誤飲しそうになった	386	244	142	141	15	126	169	53	19	1	1	2
誤飲したことがある	103	65	38	35	7	28	45	13	9	1	—	—

	合計	男の子	女の子	年齢別(男女計)								
				0歳	6ヶ月 未満	6ヶ月 ～1 歳未 満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
(6)石鹸・化粧品・歯磨き等												
① 歯磨き	102	61	41	13	2	11	30	31	22	3	1	2
誤飲しそうな経験がある	34	21	13	8	2	6	11	9	5	1	—	—
誤飲した経験がある	68	40	28	5	—	5	19	22	17	2	1	2
② 固形石鹸	80	48	32	24	5	19	45	7	3	1	—	—
誤飲しそうな経験がある	56	36	20	16	4	12	33	4	3	—	—	—
誤飲した経験がある	24	12	12	8	1	7	12	3	—	1	—	—
③ 化粧品 ※口紅、化粧水等	62	29	33	11	—	11	41	8	1	1	—	—
誤飲しそうな経験がある	38	18	20	9	—	9	21	7	—	1	—	—
誤飲した経験がある	24	11	13	2	—	2	20	1	1	—	—	—
④ ボディーシャンプー	52	33	19	28	10	18	18	3	3	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	38	24	14	21	9	12	11	3	3	—	—	—
誤飲した経験がある	14	9	5	7	1	6	7	—	—	—	—	—
⑤ 入浴剤	40	20	20	8	2	6	15	11	5	—	1	—
誤飲しそうな経験がある	35	16	19	6	2	4	13	11	5	—	—	—
誤飲した経験がある	5	4	1	2	—	2	2	—	—	—	1	—
⑥ シャンプー・リンス・コンディショナー	38	19	19	14	5	9	16	6	1	1	—	—
誤飲しそうな経験がある	28	14	14	12	5	7	13	3	—	—	—	—
誤飲した経験がある	10	5	5	2	—	2	3	3	1	1	—	—
⑦ マニキュア・マニキュア除去液	10	4	6	3	—	3	5	1	1	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	9	4	5	3	—	3	4	1	1	—	—	—
誤飲した経験がある	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
⑧ その他の化粧品等 ※ハンドクリーム等	15	7	8	1	—	1	9	4	1	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	10	5	5	1	—	1	7	2	—	—	—	—
誤飲した経験がある	5	2	3	—	—	—	2	2	1	—	—	—
石鹸・化粧品・歯磨き等【小計】	399	221	178	102	24	78	179	71	37	6	2	2
誤飲しそうな経験がある	248	138	110	76	22	54	113	40	17	2	—	—
誤飲したことがある	151	83	68	26	2	24	66	31	20	4	2	2
(7) ペットボトルのふた	282	160	122	85	7	78	118	55	17	4	1	2
誤飲しそうな経験がある	273	154	119	80	7	73	115	54	17	4	1	2
誤飲した経験がある	9	6	3	5	—	5	3	1	—	—	—	—
(8) 硬貨	227	143	84	75	8	67	96	39	13	3	1	—
誤飲しそうな経験がある	218	137	81	70	7	63	93	38	13	3	1	—
誤飲した経験がある	9	6	3	5	1	4	3	1	—	—	—	—

	合計	男の子	女の子	年齢別(男女計)								
				0歳	6ヶ月 未満	6ヶ月 ~1 歳未 満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
				(9) 乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等								
① 保冷剤	66	34	32	9	3	6	26	18	8	4	—	1
誤飲しそうな経験がある	64	34	30	8	2	6	26	17	8	4	—	1
誤飲した経験がある	2	—	2	1	1	—	—	1	—	—	—	—
② 乾燥剤・脱酸素剤(食品用)	64	40	24	12	2	10	28	17	5	1	—	1
誤飲しそうな経験がある	54	37	17	8	1	7	24	15	5	1	—	1
誤飲した経験がある	10	3	7	4	1	3	4	2	—	—	—	—
③ 殺虫剤	37	17	20	12	—	12	14	5	4	1	—	1
誤飲しそうな経験がある	36	17	19	12	—	12	14	5	3	1	—	1
誤飲した経験がある	1	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
④ 消臭剤・防臭剤	9	4	5	7	1	6	—	1	1	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	7	4	3	6	1	5	—	—	1	—	—	—
誤飲した経験がある	2	—	2	1	—	1	—	1	—	—	—	—
⑤ 衣料用防虫剤	9	2	7	4	2	2	2	2	—	1	—	—
誤飲しそうな経験がある	7	2	5	3	1	2	1	2	—	1	—	—
誤飲した経験がある	2	—	2	1	1	—	1	—	—	—	—	—
⑥ その他の乾燥剤等 ※靴の乾燥剤等	5	2	3	2	—	2	3	—	—	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	4	1	3	1	—	1	3	—	—	—	—	—
誤飲した経験がある	1	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等【小計】	190	99	91	46	8	38	73	43	18	7	—	3
誤飲しそうな経験がある	172	95	77	38	5	33	68	39	17	7	—	3
誤飲した経験がある	18	4	14	8	3	5	5	4	1	—	—	—
(10) 電池	180	109	71	36	2	34	94	29	15	3	2	1
誤飲しそうな経験がある	167	102	65	30	2	28	90	27	15	3	2	—
誤飲した経験がある	13	7	6	6	—	6	4	2	—	—	—	1
(11) ポリ袋 ※菓子の袋、レジ袋等	102	62	40	68	6	62	24	8	2	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	77	47	30	49	6	43	19	7	2	—	—	—
誤飲した経験がある	25	15	10	19	—	19	5	1	—	—	—	—

	合計	男の子	女の子	年齢別(男女計)								
				0歳	6ヶ月 未満	6ヶ月 ～1 歳未 満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
				(12) 洗剤・漂白剤等								
① 風呂用洗剤	17	13	4	7	1	6	7	2	1	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	16	12	4	7	1	6	7	1	1	—	—	—
誤飲した経験がある	1	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
② 食器洗い用洗剤	14	12	2	3	2	1	7	2	1	1	—	—
誤飲しそうな経験がある	11	9	2	3	2	1	5	1	1	1	—	—
誤飲した経験がある	3	3	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—
③ 衣料用洗剤	13	8	5	6	—	6	6	1	—	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	9	7	2	3	—	3	5	1	—	—	—	—
誤飲した経験がある	4	1	3	3	—	3	1	—	—	—	—	—
④ 漂白剤(食器用)	12	7	5	5	—	5	3	2	1	1	—	—
誤飲しそうな経験がある	10	6	4	5	—	5	3	1	—	1	—	—
誤飲した経験がある	2	1	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—
⑤ トイレ用洗剤	7	4	3	2	1	1	3	—	1	—	—	1
誤飲しそうな経験がある	6	4	2	2	1	1	3	—	—	—	—	1
誤飲した経験がある	1	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
⑥ カビ取り剤	6	5	1	2	1	1	3	1	—	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	6	5	1	2	1	1	3	1	—	—	—	—
誤飲した経験がある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑦ 漂白剤(衣類用)	3	—	3	1	—	1	1	—	1	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	1	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—
誤飲した経験がある	2	—	2	—	—	—	1	—	1	—	—	—
⑧ その他の洗剤等 ※柔軟剤等	4	1	3	2	—	2	2	—	—	—	—	—
誤飲しそうな経験がある	4	1	3	2	—	2	2	—	—	—	—	—
誤飲した経験がある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
洗剤・漂白剤等【小計】	76	50	26	28	5	23	32	8	5	2	—	1
誤飲しそうな経験がある	63	44	19	25	5	20	28	5	2	2	—	1
誤飲した経験がある	13	6	7	3	—	3	4	3	3	—	—	—

	合計	男の子	女の子	年齢別(男女計)								
				0歳	6ヶ月 未満	6ヶ月 ～1 歳未 満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
				(13)その他								
① アクセサリー ※髪飾り、指輪等	42	19	23	14	2	12	18	9	—	—	—	1
誤飲しそうになった経験がある	33	13	20	12	2	10	16	5	—	—	—	—
誤飲した経験がある	9	6	3	2	—	2	2	4	—	—	—	1
② 磁石	36	24	12	12	—	12	18	5	1	—	—	—
誤飲しそうになった経験がある	33	22	11	10	—	10	18	4	1	—	—	—
誤飲した経験がある	3	2	1	2	—	2	—	1	—	—	—	—
③ ケーキの飾り	27	17	10	6	1	5	10	6	4	—	—	1
誤飲しそうになった経験がある	25	15	10	6	1	5	9	6	3	—	—	1
誤飲した経験がある	2	2	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—
④ 磁気治療器	2	—	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—
誤飲しそうになった経験がある	2	—	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—
誤飲した経験がある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤ その他家庭用品※携帯ストラップ・消しゴム等	156	100	56	57	9	48	74	15	7	1	2	—
誤飲しそうになった経験がある	106	66	40	33	5	28	55	11	4	1	2	—
誤飲した経験がある	50	34	16	24	4	20	19	4	3	—	—	—
その他【小計】	263	160	103	89	12	77	122	35	12	1	2	2
誤飲しそうになった経験がある	199	116	83	61	8	53	100	26	8	1	2	1
誤飲した経験がある	64	44	20	28	4	24	22	9	4	—	—	1
【合計】	5,801	3,358	2,443	1,825	214	1,611	2,353	1,113	385	78	31	16
誤飲しそうになった経験がある	4,566	2,673	1,893	1,363	157	1,206	1,911	913	289	58	21	11
誤飲した経験がある	1,235	685	550	462	57	405	442	200	96	20	10	5

(4) 品目別に見た誤飲の状況

ア 玩具

～『玩具』は部品に注意！細かい部品を飲み込んでしまうことも！～

(ア) 誤飲経験の有無

[図4-1]は、『玩具』の誤飲経験の有無を集計した結果である。玩具全体では、「誤飲しそうになった経験がある」が34.6% (691人)、「誤飲した経験がある」が11.1% (222人)で45.7% (913人)の保護者が玩具の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

品目別にみると、[図4-2]に示すとおり、『シャボン玉液』が2,000人中414人(誤飲しそうになった：288人、誤飲した：126人)で最も多く、次に『ビー玉』、『小さなゴムボール』と続いている。その他の小型玩具としては、『粘土』、『パズル』などがあつた。

図4-1 誤飲経験の有無《玩具全体》

(N=2,000)

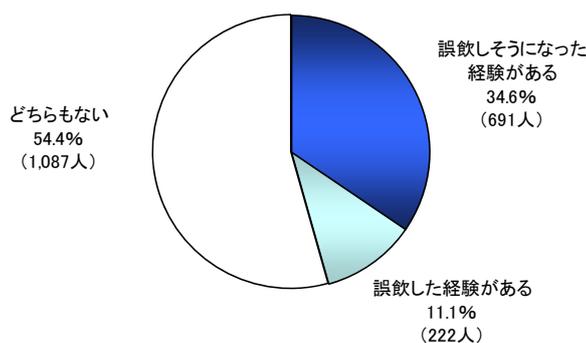
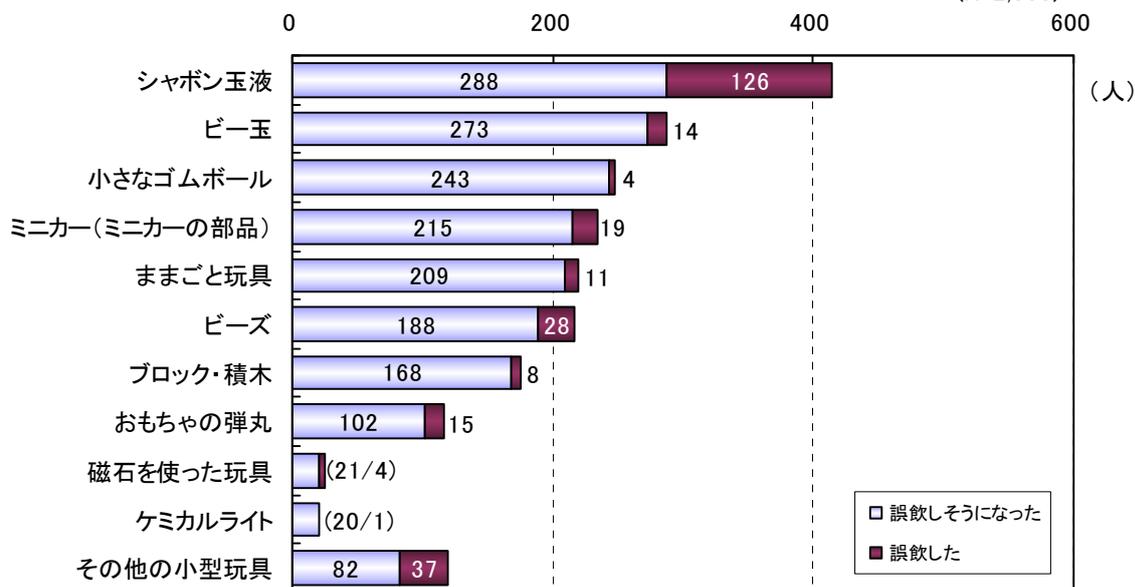


図4-2 誤飲経験の有無《玩具》品目別

(N=2,000)



《その他の小型玩具》

番号	その他の小型玩具の種類	誤飲しそうになった経験がある	誤飲した経験がある	合計
1	粘土	15	6	21
2	パズル	16	4	20
3	カード	8	5	13
4	おはじき	3	3	6
5	こま	5	—	5
6	オセロ	4	—	4
7	その他(パチンコ玉、風船、人形等)	31	19	50
	計	82	37	119

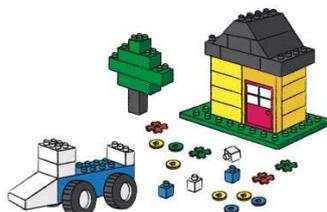
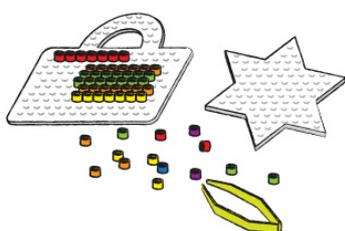
(イ) 誤飲したときの状況 (自由回答記述内容)

自由回答の内容を分析すると、誤飲の対象物として最も多かったシャボン玉液では、シャボン玉で遊んでいる最中に間違っシャボン玉液を吸ってしまう事例が多かった。

玩具の誤飲事例の中には、「小さなゴムボールを誤飲してむせた」「ままごと玩具が口の中で割れ、それが喉に詰まった」等、喉に詰まったり、むせるなどの事例が 12 件あった。他には、「ブロックが口にはまって取れなくなった」等玩具が口にはまって自力で取れなくなるケースが 10 件あった。

ミニカーの事例では、タイヤがはずれてそれを飲み込むケースがほとんどだったが、サイレンやライトの部分の口に入れた事例もあった。口に入らない大きさのおもちゃだと思っても、はずれた細かい部品を誤飲することもある。また、部品等で角がとがっているものを飲み込んでしまった場合、口の中や喉を傷つける恐れもある。細かい部品がついているものには十分注意し、遊んでいるときもできるだけ目を離さないようにすることが重要である。

玩具全体として、上の年齢の兄弟が遊んでいるものを口に入れる事例が多く見られたので兄弟が遊んでいるおもちゃにも注意が必要である。



《主な事例》

番号	品目	状況	年齢・性別
1	シャボン玉液	2ヶ月前、下の子が2歳7ヶ月の時お友達や兄がシャボン玉で遊んでいて、やりたがったので初めてやらせてみたところ、吸ってしまい口の中にシャボン液が入ったので、少量だったのですぐに吐き出し、水ですぐにゆすいだ。	男の子・2歳
2		公園でシャボン玉で遊んでいるとき、暑い日だったので、お茶の隣に予備のシャボン玉液を置いておいた。お茶と間違えて飲んでしまったが、もともと、水でうすめてあった液だったので、病院に行くこともなく済んだ。	女の子・1歳
3	ビー玉	1年ほど前、息子が5歳のとき、家にあったビー玉を手にして遊んでいるうちに、口の中に入れ、なにかの拍子にゴクリとのみこんでしまった。幸い喉に詰まることはなく、胃まで達したので、病院に行き下剤をもらい、肛門から出した。	男の子・5歳
4	小さなゴムボール	地域の祭りで配っていた小さなゴムボールを4歳の息子がもらい、自分で持っていたが、目を離したすきに誤飲してしまいむせこんでいた。逆さにして背中をたたいて取り出したて事なきを得たが、危ない状況だった。	男の子・4歳
5	ミニカー	1才はじめくらいだったと思います。お友達からとミニカーをプレゼントで頂きました。早いと思ったのですが、与えたところ、なぜかパトカーの前ライトの部分が外れてしまったようで、口の中でもごもごしているのを発見し、口から出しました。差し込んであるせいかとがっていましたので、少しひやりとしました。	男の子・1歳
6		上の子のミニカーを持って一緒に遊んでいたときに、当時1歳1ヶ月の息子がタイヤ部分をなめて遊んでいたらゴム製のタイヤが外れ、そのまま飲み込んでしまった。医療機関の受診はなく、1日後の便の中からタイヤは出てきた。	男の子・1歳
7		消防車の上の部分についているサイレン(赤いところ)のようなところが外れて気が付いた時には口に入れていて出そうと思って口を開けたがすでに飲み込んでしまったらしい。医療機関は受診しなかった。2日後うちの中から出てきた(赤かったので目立ってすぐに分かった)。後日風邪をひいたときにその時の経緯を病院の先生に話したところ丸いものではなく四角いものを飲み込んでしまったので喉に傷が付いている可能性もあるのだにかあったらその時には病院を受診するようにと言われた。	男の子・1歳
8	食べ物の形をした玩具(ままごと玩具)	おままごとで食べるまねをして喉に詰まりそうになりました。ちょっと長いネギみたいなものだったので喉に突き刺さったようです。	男の子・1歳
9		この前のことで、2才の息子がお風呂から出ておもちゃを持って一人で遊んでいました。私は洗い物や部屋の片付けなどに手をつけ、たいぶ大きくなって物を口に入れる心配がなくなった息子を気にせず一人で遊ばせました。途中でうえっという吐き声がかえったので、慌てて息子のほうを見ると、ままごとのやわらかい素材のスイカを口に入れて、口の中で割れてしまったようで、それが喉に詰まった様子でした。飲み込んではいなかったけど、喉までいってしまった様子でかなり焦りました。	男の子・2歳
10	ビーズ	水でつくビーズを口の中に入れてしまい、よだれで取れなくなったので病院で取ってもらった。	男の子・4歳
11	ブロック・積み木	丸い細長い積み木をよく口に入れてなめていた。ある朝、いつものように座りながらなめていたら、お座りがふらふらしたすきに前に倒れ、口に積み木がささり、出血。唇の裏と歯茎のようなところをきったようで出血が多かったが、すぐに止まったので医療機関は受診しなかった。	女の子・0歳(6ヶ月未満)
12		ブロックを口の中に入れ、取れなくなってしまった。数分格闘して、なんとか角度を変えて取り出すことができたが、唇が切れて出血した。医療機関は受診しなかった。	女の子2歳
13	おもちゃの弾丸	4年前、息がおもちゃの弾丸(公園で見つけて拾って持って帰ってきたもの)を鼻や口に入れて遊んでいて、はっと気が付いたら口に何か入れていたので出しなさいと言ったら、弾丸がでてきた。	男の子・2歳
14	磁石を使った玩具	2ヶ月前、上の子が遊んだままに残されて床に置きっぱなしになっていた磁石式パズルの小さいものを口の中に入れて、その後嗚咽していた。なんだろうと思い口の中をみたら、喉の手前あたりにこのパズルが喉上にくっついていて、指をいれてとってあげた。	男の子・0歳(6ヶ月未満)
15	磁石を使った玩具	息子が3歳の時。知人からもらった魚釣りのおもちゃで遊んでいたが、後で片付けてみると魚の口部分の留め具が無くなっていた。口にくわえて遊んでいたのどうやら飲みこんでしまったらしい。金具なので消化器官に穴が開くのではないかと青くなったが、育児書を読むと翌日あたりに大便と一緒に排泄されると書いてあり、翌日まで様子を見守ったところ、記述通り大便の中から留め金具が見つかった。	男の子・3歳

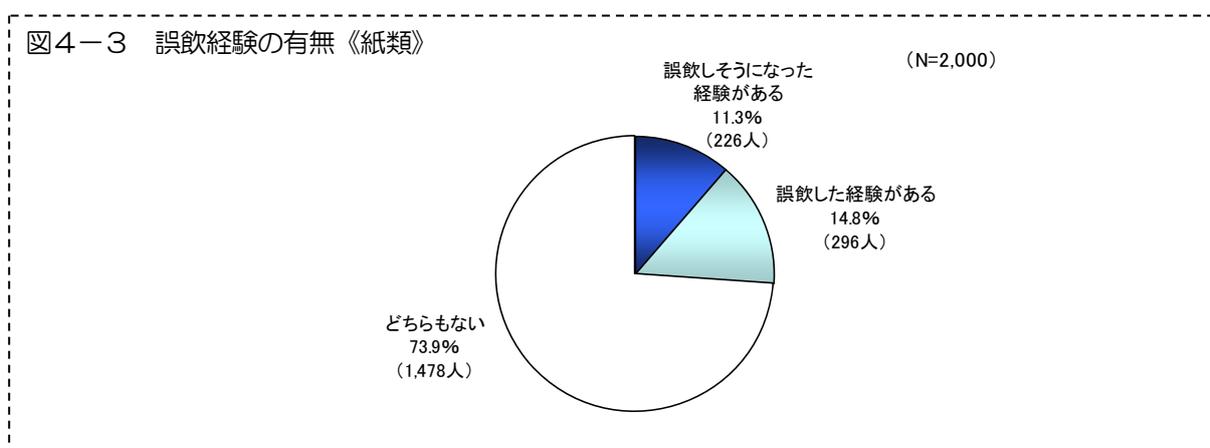
イ 紙類

～身の回りの様々なところにある『紙』が喉に詰まってむせることもある！～

(ア) 誤飲経験の有無

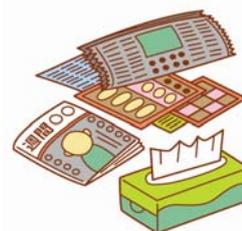
[図4-3]は、『紙類』(ティッシュ・新聞紙等)の誤飲経験の有無を集計した結果である。「誤飲しそうになった経験がある」が11.3%(226人)、「誤飲した経験がある」が14.8%(296人)で26.1%(522人)の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

『紙類』の種類は、『ティッシュペーパー』が153件(誤飲しそうになった:87件、誤飲した:66件)で最も多く、次に『新聞・広告』、『絵本・雑誌』と続いている。



《紙類》

番号	紙の種類	誤飲しそうになった経験がある	誤飲した経験がある	合計
1	ティッシュペーパー	87	66	153
2	新聞・広告	51	91	142
3	絵本・雑誌	29	46	75
4	包装紙・箱	7	6	13
5	折り紙	4	5	9
6	印刷用紙	3	1	4
7	おしりふき	2	1	3
8	その他(レシート、付箋、紙全般等)	43	80	123
	計	226	296	522



(イ) 誤飲したときの状況(自由回答記述内容)

紙類を誤飲したときの状況は、「目を離した際に口に入れていた」「ティッシュペーパーや新聞紙等で遊んでいた」などの事例が多かった。他には、「食べ物を包み紙ごと食べてしまった」などの事例が2件あった。

紙類の誤飲事例の中には、「新聞紙をほおぼっておえとなった」等、喉に詰まったり、むせるなどの事例が5件あった。

紙類は、身の回りの様々なところにあり、まだはいはいができない子供が誤飲するケースもある。危険性に対する認識も低い、喉に詰まらせることもあるので、置き場所に注意が必要である。

《主な事例》

番号	品目 (種類)	状況	年齢・ 性別
1		ジュースをこぼした時、拭いたティッシュペーパーをなめていた。	男の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
2	ティッシュペーパー	1歳になる頃の娘がティッシュを箱から出して、なめていた。ローションティッシュだったので、何となく甘いような味がしていたようである。少し飲み込んでしまったみたいだが、特に病院などには行かなかった。	女の子・ 1歳
3		7ヶ月くらいのときティッシュを何枚も取り出すのが大好きでさらに細かくちぎることを覚え、よく口に入れていた。気づいたら出すようにしていたが少しは食べていたと思う。別の機会に病院で聞いたら喉に詰まらせなければ大丈夫とのことだった。	女の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
4		主人の実家につれていった時、一人で遊んでいるようだったのでほっておいたら突然「 おえっ 」という声が聞こえて、 <u>娘を見てみると口いっぱい新聞紙を頬張っていた</u> ので急いで口に指を入れて全部取り出しました。	女の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
5	新聞・広告	広告を口に入れてむせた。	男の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
6		つい最近7カ月の息子が 突然コホコホして苦しそうにしている、見ると宅配サービスの広告が散乱していてその一部を口に入れてしまっていました 。幸い飲み込んでいたわけではなかったため特別病院には連れて行きませんでした。	男の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
7	絵本・雑誌	絵本を与えて少し目を離している隙に絵本の角をハムハムして、やわらかくなった部分がなくなっていた。念のためかかりつけの病院へ電話。診察してもらった。ウンチと一緒に出てくるだろうから問題ないとのことでした。	男の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
8		8ヶ月ごろから指先が器用になってきたのか本を見てはページをめくり口に入れる。ゲホっという声で気づき口の中から取り出した。	男の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
9	包装紙・箱	ソフトキャンディーを食べさせる際、直接手に触れないように紙を開かせ、口に運ぶように教えたが、 <u>紙ごと口に入ってしまった</u> 。すぐに取り出したので、飲み込みはしませんでした。	女の子・ 3歳
10		1歳8ヶ月の息子とハッシュポテトを食べたとき、 <u>包んであった紙もポテトと一緒にほんの少しだけ食べていました</u> 。	男の子・ 1歳
11	おしりふき	ベビーベットの上においてあるおしりふき(詰め替え用のもので箱にいれてない)の取り出し口があいていて、そこからつまみだして口にもっていった。特に汚いものでも飲み込めるようなものではないのでそこまでヒヤリとはしなかったが、取れないところに移動した。	女の子・ 0歳(6ヶ月未満)
12		なんでも口にして確認するので6か月ごろからそばにある紙を口にしていた。7か月になると歯茎もしっかりしてきたせいか、 <u>紙を噛み切り、2センチ四方の大きさの紙を何度か涙を流しながら、オエっとなっているときに気づくことが多く、結果飲み込んだり、早ければ、口に手を入れてとりだしたりした</u> 。医療機関には受診していない。紙はうんちと一緒に出てきた。	女の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
13	その他	5か月から6か月の間、 <u>寝返りで移動</u> できるようになり、近くにあった、レシートを手でつかんでしゃぶって一部分を口に入れていた。	女の子・ 0歳(6ヶ月未満)
14		数ヶ月のとき、デパートのオムツ替えコーナーでオムツ台にひく紙をちぎってむしゃむしゃ食べてしまった。白湯を大量に飲ませて、病院には行かなかった。	女の子・ 0歳(6ヶ月未満)
15		1才未満の時、お姉ちゃんのおえかきちょうを破って遊んでいたら口の中に入れてしまい飲み込んでしまって食べた夕食とともに吐きました。医療機関は受診しませんでした。	女の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)

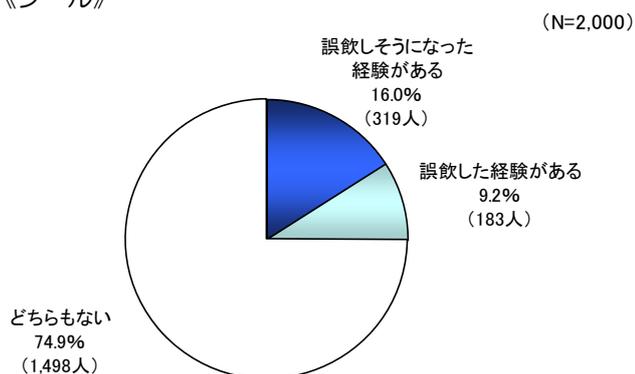
ウ シール

～『シール』が舌の奥に貼りついて取れなくなった！～

(ア) 誤飲経験の有無

[図4-4]は、『シール』の誤飲経験の有無を集計した結果である。「誤飲しそうになった経験がある」が16.0% (319人)、「誤飲した経験がある」が9.2% (183人)で25.1% (502人)の保護者がシールの誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

図4-4 誤飲経験の有無《シール》



(イ) 誤飲したときの状況 (自由回答記述内容)

《シール》

番号	シールの種類	誤飲しそうになった経験がある	誤飲した経験がある	合計
1	シールブック・雑誌の付録等のシール	27	16	43
2	病院(検診)・薬局等でもらったシール	9	9	18
3	食品・飲料等に貼っていたシール	11	3	14
4	玩具に貼っていたシール	9	4	13
5	おまけのシール(菓子のおまけ等)	8	1	9
6	家具・壁に貼っていたシール	4	4	8
7	手帳のシール	3	3	6
8	その他(名前シール、虫よけシール等)	10	6	16



シールを誤飲したときの状況は、「シールで遊んでいた」ときが多かった。記述内容の中の『シール』の種類は、『シールブック・雑誌の付録等のシール』等子供向けのシールを誤飲する事例が多いが、飲料水のふたに貼ってあるキャンペーン用のシールや家具、玩具等に貼ってあるシールをはがして飲み込んでしまう事例もあった。

シールの誤飲事例の中には、「シールを誤飲して息ができなくなった」等、喉に詰まったり、むせるなどの事例が25件あった。

シールは子供の身の回りにたくさんあるが、一步間違えると窒息する危険もあるので注意が必要である。

《主な事例》

番号	品目 (種類)	状況	年齢・ 性別
1	絵本の シール	1歳の時、シールブックに何度も貼り直し出来る電車のシールを貼って遊んでいた。そのうち、 すごく咳き込んで苦しそうにするので見たら、口の奥に丸まったシールが詰まっていてびっくりした。 慌てて背中を叩いたらシールが出てきたので医療機関は受診しなかった。新幹線型の長い車両のシールだったので、飲み込む事も出来ず詰まったらしかった。	男の子・ 1歳
2	病院でも らったシール	1才未満の時、小児科でもらったシールをもたせていたらシールが台紙にない事がわかり子供の口を見たらもぐもぐしていた。あわてて口の中を開け指でとりのぞいたが少しは飲み込んでしまったようだった。医療機関は受診しなかった。	女の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
3	食品・飲料 のシール	お菓子についている値札をはがしたようで、そのまま口に入れてしまった。 苦しそうな声 がして気付いた。口に手を入れて排出した。	女の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
4		娘が1歳頃、500mlのペットボトルを蓋を閉めた状態で口にいれていたところ、蓋部分についていた小さなシールをはがれて、口の中に入ってしまった。 喉の近くまで入りそうになったらしく、様子がおかしいと感じたので、口の中を見ると、シールを飲み込みそうになっていた。	女の子・ 1歳
5	玩具の シール	下の子が1歳ちょっとの頃、おもちゃに貼りついていたシールを誤飲して 息が出来なくなり顔の色が少し紫になってしまい、口を下にして手を入れて吐き出させようとしたが 出てこなくて、やっけるうちに引っかかったシールが取れたみたいで、息も出来るようになり泣き出した。病院に電話したところ、普通に水などを飲んでいるなら受診しなくていいとのことだった。数時間後、うんちでシールが出てきた。	女の子・ 1歳
6		子供たちをおもちゃで遊ばせ、ママ達はお茶をしながらおしゃべりしていたら、うちの子が 苦しそうな顔をしながら泣きながら私のもとに来た。口の中を見たらシールがあり、飲み込みそうと思ったら詰まって苦しくて口の中に戻したようだった。 私は慌てて口の中からシールを出した。後で聞いたら、おもちゃの中に、子供がふたをとってしまうのでシールを貼ってふたを取れないようにしているものがあつたみたいだった。その子はシールを貼ったら大丈夫だったみたいだが、うちの子はそのシールをはがし口に入れてしまったみたいだった。	女の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
7	おまけの シール	3年前、息子が1歳の時、何かのおまけでもらったシールをうっかり子供の手の届くところに置きっぱなしにしてしまい、子供がたまたま、はがれかかったシールを手にとり、口に入れて飲み込むまではいかなかったが、 舌の奥の方にはりついてしまい、なかなか取れなかった が、ピンセットでなんとか取ることができた。	男の子・ 1歳
8	家具に貼っていた シール	ペットボトル飲料についてくるキャンペーン用の番号のついたシールを 棚に軽く貼っておいた。 それを息子が1歳のとき口にしたがそのときは気がつかなかった。そのあと、食事をしたときに やたらと咳き込む のでおかしいなと思って口の中をのぞきこんだらシールが出てきた。	男の子・ 1歳
9	手帳の シール	6から8か月の頃私がパソコンでアンケートに集中して作業をしていた。ソファの足元には腹這いの子供が遊んでいた。気付かぬうちに私の手帳を見つけて遊んでいたらしく、 突然ゲホっと言ったので見てみたら、手帳のスケジュール用の小さいシールを飲み込み詰まらせていた。 吐き気をもよおしていたので慌てて吐かせた。食後だったので沢山吐いたが全部吐いたらすっきりしたようなので病院には行かなかった。シールは複数飲んでいった様子。	女の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)
10		娘が2歳くらいとき、スケジュール帳に貼るような5ミリ×5ミリくらいの小さなシールを一人でノートか何かにペタペタ貼って遊んでいた。私は夕食の準備をしていたが、急に娘が泣き出し訳を聞くと 「シール飲んじゃった」「喉が痛い」と泣きながらむせ続けて、水を飲ませたりしたけど泣き止まなくて、かかりつけの小児科に電話した。「とにかく来てください」というので急いで行ったら診察するころには飲み込んだらしく大事には至らなかった。	女の子・ 2歳
11	その他	半年くらい前に子供用のパジャマ入れを作り、それぞれに子供の名前のシール(盛り上がったもの)を入れ物につけたのですが、1歳の息子が自分で器用にはがし口に入れてしまいました。 口の上に貼りついてしまい、取るのにすごく時間がかかりました。 おえつしてしまつてかわいそうでした。	男の子・ 1歳
12		3歳の時に上の子が、プラスチックでできているシールを口に入れて遊んでいて 喉に詰まらせ息が出来ず、すごく大変でした。 医療機関は、受診しなかったのですが何度も水を飲ませたり指をいれたりはきださせるのが大変でした。	女の子・ 3歳
13		前日に息子のズボンの前部分に虫除けシールをつけていて、そのまま翌日同じズボンを履かせてベビーカーに乗せてスイミングのレッスンを受けに行った。レッスン中ずっと口を閉じておかしな顔をしているなど思ったが気がつかなかった。1時間後、着替えて授乳するときに泣きわめいて、口の中にシールを発見。固い素材なので飲み込みはしなかったようだ。シールの裏面をみると、「誤飲した際、異常が見られれば医療機関を受診するように」とのことので、特に異常はみられなかったので病院へは行かなかった。	男の子・ 0歳(6ヶ月～1歳未満)

工 医薬品

～服用時にうっかり床に落とした『医薬品』を子供が拾って口に入れる！～

(ア) 誤飲経験の有無

[図4-5]は、『医薬品』の品目別の誤飲経験の有無を集計した結果である。医薬品全体では、「誤飲しそうになった経験がある」が14.0%（280人）、「誤飲した経験がある」が3.7%（74人）で17.7%（354人）の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

品目別にみると、[図4-6]に示すとおり、『外皮用薬』が2,000人中167人（誤飲しそうになった：144人、誤飲した：23人）で最も多く、次に『風邪薬』『眼科用剤・耳鼻科用剤』が続いている。その他の医薬品としては、『血圧の薬』、『ビタミン剤』などがあつた。

図4-5 誤飲経験の有無《医薬品》

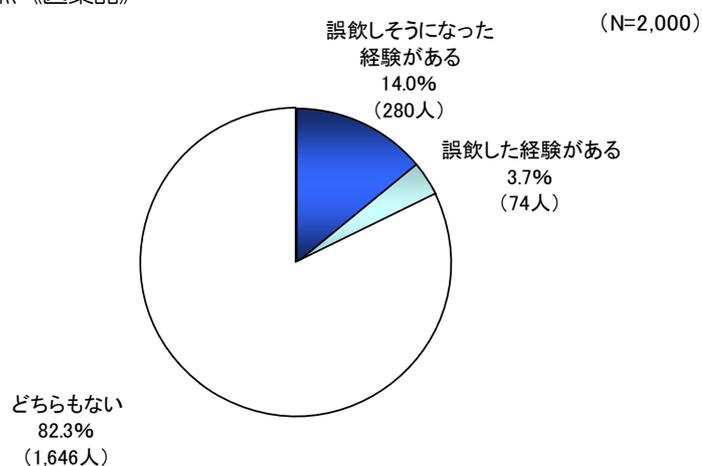
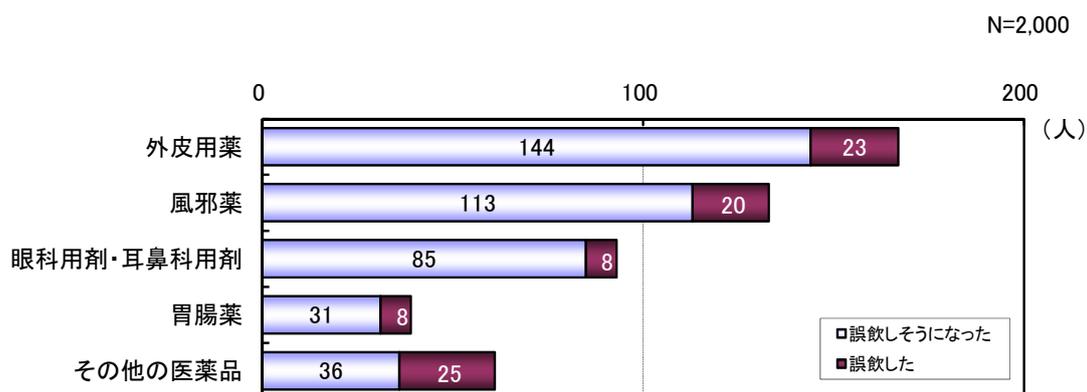


図4-6 誤飲経験の有無《医薬品》品目別



(イ) 誤飲したときの状況(自由回答記述内容)

医薬品を誤飲したときの状況は、「薬を置き忘れていた」「薬を飲もうとして準備していた」等「テーブル・机の上に置いていた薬を口に入れた」という事例が多かった。

外用薬では、「塗り薬のチューブをかじる、折り曲げるなどしてチューブに穴があいてしまい、中身を口に入れた。」という事例が5件あった。

風邪薬、胃腸薬では、「薬を飲もうとしたときに薬を床に落としてしまい、それを子供がみつけて口に入れた」という事例が8件あった。錠剤を服用する際は、床に落とさないようにするとともに、落とした場合には必ず探して拾うことが大切である。

シロップ薬では、「テーブルの上のシロップの薬を2日分ほど飲んだ」「シロップを自分で飲みたいと手に持っていた」などの事例もあった。甘い味付けの薬は子供が飲みたがるがあるので、細心の管理が必要である。

医薬品は、薬を飲もうとしているときや薬を塗っているときの誤飲事例も多いので、保管場所だけでなく使用中の取り扱いにも気をつけなければならない。



《主な事例》

番号	品目	状況	年齢・性別
1	外用薬	入浴後に使用しようと思っていたチューブの軟膏を、 <u>上の子の着替えをしている間に、下の子が折り曲げて破損した部分から薬が出てしまい、手についた薬を舐めてしまった。</u>	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
2		長男にお風呂あがりに軟膏を塗っていたところ、背後からそお〜っと近付いてきて床に置いていたチューブに入った薬(皮膚科でもらったもの)を口に入れそうになった。 <u>塗っている途中だったので蓋を軽くしか閉めておらずヒヤリとした。</u>	女の子・1歳
3		2年前、当時1歳だった娘はオムツかぶれがひどかった。常にチューブの薬を近くに置いていて、目を離れたすきにチューブをつかんでおしゃぶりがわりに噛み噛みしていた。 <u>破けて少し薬が出てしまっていたので、急いでうがいさせた。</u> ほんの少量だったので病院へは行かず、様子を見た。	女の子・1歳
4	風邪薬	手の届かない本棚に置いてあった母親の喘息の薬を、 <u>よじ登って取った</u> と思われます。発見したときには錠剤を取り出しているもぐもぐしていました。119番に電話して救急病院へ行くように指示をいただき病院では経過観察と言われました。	女の子・2歳
5		上の子が2歳10ヶ月の時、母親(私)が <u>風邪薬を飲もうとし、蓋を開け風邪薬をとりだした時に一粒落としてしまい、子供が飲んでしまった。</u> 慌てて小児科に行って診察してもらいました。	男の子・2歳
6		テーブルに置いてあったシロップの風邪薬2日分ほどを <u>全部飲み込んだ。</u> 医師に相談したが、強い薬ではないので、家で様子を見るように言われた。	男の子・3歳
7		シロップ薬を「 <u>自分で飲みたい</u> 」と手に持っていました。	女の子・2歳
8	眼科用剤・耳鼻科用剤	3年前次男が目薬の入れ物を <u>飲み物と間違えて</u> 口で吸っていた。	男の子・1歳
9		昨年、上の子供が結膜炎になった時に、二種類の点眼薬が処方されて、 <u>1つを点眼させている間に、置いてあった抗菌点眼薬の方の蓋を開けて舐めてしまった</u> が、抗菌剤だったので平気かと思病院へは入っていない。	男の子・2歳
10		一ヶ月ほど前、3歳の長男が <u>机の引き出しを開けていた時に、8ヶ月の次男が引き出しから袋に入った点眼薬を取り出し、口に入れていた。</u> 病院で処方された点眼薬だった。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
11	胃腸薬	娘が3歳の時、床に置いてあった母親の <u>カバンから胃腸薬を取り出して飲んだ</u> ので、病院で胃洗浄を行い、帰宅しました。	女の子・3歳
12		私が <u>袋に入った胃腸薬を床に落としたまま見つけることができず翌日に次女が見つけて口に入れていた。</u> 口をもごもごしていたので、口の中を確認したところ胃腸薬を吐き出した。薬は薬局で袋にバックしてあったもので、 <u>袋を開ける勢いで錠剤が飛び出してしまった。</u>	女の子・3歳
13	その他の医薬品	父親と留守番中に観音開きのたなが開いていて、薬瓶のふたをあけた形跡があるのを帰宅した母親が見つけた。飲んだかどうかその時は不明だったが、数時間後とつぜん嘔吐し、病院で見てもらったなら心臓がぼくぼくしていた。	女の子・2歳
14		祖母の薬を取り出し遊んでいるうちに容器からカプセルが外れ、口に入れてカプセルだけを口から出したので、誤飲が判り急いで救急病院に連れて行き胃洗浄を行い、帰った。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
15		数年前ですが、お昼寝からおきて長男が高いところにおいてあった薬袋を取り出し下の子供たちと一緒に「おいしいよー」と食べていました。私は一緒に寝てしまっていた時のことです。薬包が散乱し、かかりつけのクリニックへ行ったところ即大学病院に行くようにいわれ、そのまま胃洗浄・点滴をして1日入院しました。	男の子・5歳
16		今年の春ごろ、私がいつもの薬を飲もうとして <u>パッケージを開けたら薬がこぼれ落ちました。</u> 2歳になったばかりの息子がそれを見ていたのは知っていましたが、そんな小さいものを探し出して飲もうとするとは思いませんでしたので、私は新しいパッケージを開けて薬を飲みました。息子は足元をうろちょろして探し出し、私に差し出して飲もうとしたので(まだ言葉がしゃべれませんが)身振り手振りで「飲んでいいものだよな?」と表現したのであわてて止めさせました。それからは床に落としてしまった薬も必ず探し出して捨てています。	男の子・2歳

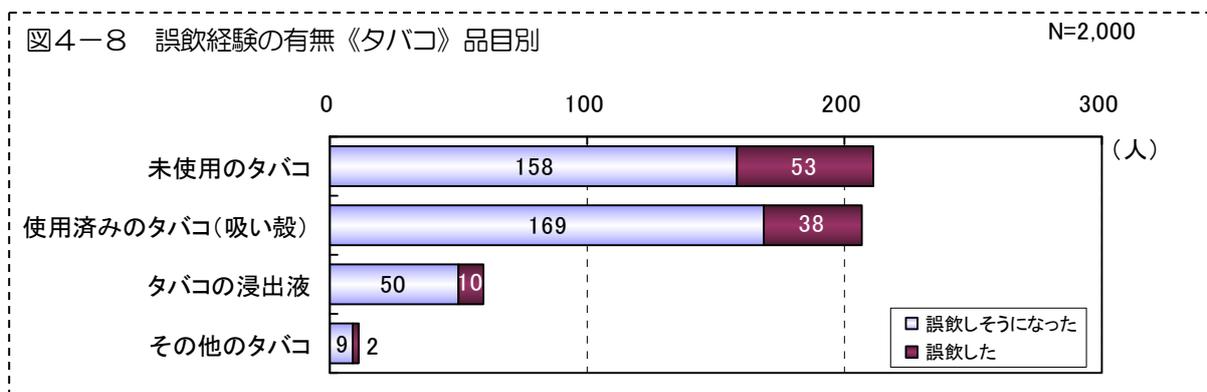
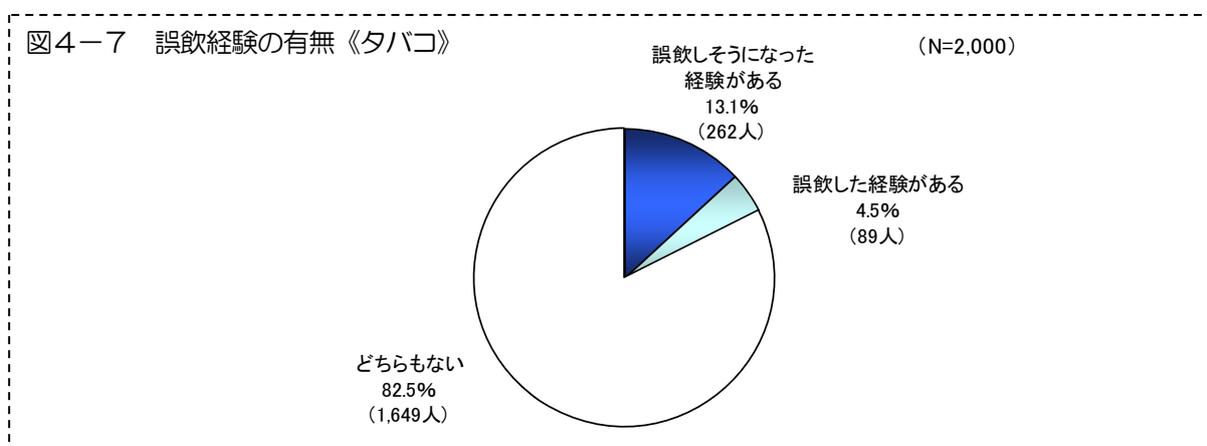
オ タバコ

～灰皿代わりに使用した空き缶のタバコ浸出液には特に注意！～

(ア) 誤飲経験の有無

[図4-7]は、『タバコ』の種類別の誤飲経験の有無を集計した結果である。タバコ全体では、「誤飲しそうになった経験がある」が13.1% (262人)、「誤飲した経験がある」が4.5% (89人)で、2,000人中17.6% (351人)の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

具体的な品目別にみると、[図4-8]に示すとおり、『未使用のタバコ』が211人(誤飲しそうになった:158人、誤飲した:53人)で最も多く、次に『使用済みのタバコ(吸い殻)』、『タバコの浸出液』が続いている。その他のタバコとしては、『タバコの灰』、『未使用のタバコで遊んでバラバラにした粉』などがあつた。



(イ) 誤飲したときの状況 (自由回答記述内容)

タバコを誤飲したときの状況は、「テーブル・机の上に置いていた」という事例が多かった。他には、「衣服のポケットからタバコを取り出す」が5件、「ゴミ箱等から出す」が2件など様々な事例があつた。また、灰皿代わりに使つた缶やペットボトルの中の水(タバコの浸出液)を飲んだ事例も4件あつた。タバコに含まれるニコチンは嘔吐などの中毒症状を起こし、小児の場合は、タバコ約1本分が致死量とされている。また、タバコの浸出液を飲んでしまった場合は、ニコチンの吸収が早く危険である。油断せず、吸い殻はすぐに片づけることが重要である。

《主な事例》

番号	品目	状況	年齢・性別
1	未使用のタバコ	夜中に家族で寝ている間、当時1才の息子が起きてきて、 <u>知らない間にテーブル上のタバコの箱を空けて、タバコを飲み込んでしまった。</u> 熱が出て具合も悪くなったので翌朝すぐに病院に連れて行った。幸い大事には至らなかった。それ以降家での喫煙は禁止となった。	男の子・1歳
2	未使用のタバコ	シガレットチョコが好きで、私が吸っているタバコをそれと間違えていじっていて、口に入れてしまったことがある。	女の子・5歳
3	未使用のタバコ	生後7か月の時にハイハイ出来るようになっていた娘が、 <u>床に脱ぎ捨ててあった父親の作業着の胸ポケットに入れてあったタバコを口に入れた</u> が、たまたまその瞬間を母親が見つけたため、すぐに取り出したので、大事には至らなかった。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
4	未使用のタバコ	8～11か月の間に、 <u>主人が胸ポケットに開封済みのタバコを入れたまま居眠りをし、その間に息子がそこから取って少量かじってしまった。</u> すぐに主人が気付く、病院に連れていった。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
5	未使用のタバコ	1歳の頃よじのぼって高さのある棚に置いてたタバコが届いてしまい、真似してタバコをすうフリをして口の中に入れてしまった。気がついたときには半分しかなく飲み込んでしまい、すぐに病院へ行った。	男の子・1歳
6	使用済みのタバコ(吸い殻)	1年位前に、朝掃除機をかけていて、息子の姿が見えない事に気づいてベランダを見ると、 <u>口の中を真っ黒にして、座っている息子を発見。</u> 急いで、口の中を洗って、病院へ電話してから受診しました。	男の子・1歳
7	使用済みのタバコ(吸い殻)	1歳半過ぎの自由に歩けるようになった頃から、 <u>勝手にベランダに出て主人のタバコの灰皿から吸い殻をつまむようになりました。</u> 即効で灰皿の位置を変更してもらいました。	男の子・1歳
8	使用済みのタバコ(吸い殻)	お兄ちゃんと遊んでいる時にゴミ箱の中身をいたずらし、 <u>出し、遊んでいた。</u> 吸い殻には気をつけていたので、別にし、袋の中にしぼって入れていたが、破ってしまっていた。念のため、病院で胃洗浄してもらった。	女の子・1歳
9	使用済みのタバコ(吸い殻)	ウトウトしていたら灰皿をあさっていた。食べたかどうかはハッキリしていなかったが、すぐ牛乳を飲ませたりして、吐かせた。それから病院に電話をしてすぐ連れて行った。胃洗浄をするほどではないという事だったが、大事を見て一晩入院した。今は何も飲ませてはいけならしい。	女の子・1歳
10	タバコの浸出液	借りている車で灰皿がなく、 <u>ペットボトルに紅茶を残して火消しに利用していました。</u> 運転席から降りて、助手席に座っている子供のドアを開けようとしたら、それを飲んでしまったみたいで、苦いと泣いていました。出先だったので水筒のお茶を沢山飲ませて、病院には行きませんでした。	男の子・3歳
11	タバコの浸出液	子供(1歳10ヶ月)が出来てから、主人が外でタバコを吸うのですが、その吸い殻を、ふたつきのビンの中に入れていたのです。よく吸うので、そのふたをあまりきつくしめていません。この間、 <u>暑いので戸をあけていたら、子供がいつのまにか出ていて、ふたを開けて茶色い浸出液のような物を口に入れて洗い顔をしていました。</u> すぐ濡れティッシュで、口の中と手をふいたが、病院へは行かなかった。	女の子・1歳
12	タバコの浸出液	夫が飲み残しの空き缶を灰皿代わりにしたものを、 <u>キッチンの空き缶ストッカーに入れておいた。</u> そこへハイハイでいって飲み物だと思ったのか口へ。浸出液が苦かったのか口から吐き出して泣いたので気付いた。すぐに口をすすいで様子を見た。特に異常が起ころなかったので病院は受診しなかったが、中毒110番へは電話をして状況を説明。アドバイスを受けた。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
13	タバコの浸出液	公園に吸殻や灰の入っている缶が落ちていた。2歳なりたて位の頃で、それを飲んでしまった。子供もすぐにべーっと出したので、病院には行かなかった。	男の子・2歳
14	その他のタバコ	盆踊りの会場に設置してあるテーブルに座って食事をしていたら多分、通りがかりの人がタバコを吸っていて <u>灰が落ちてきたのだ</u> と思う。それを見つめながら落ちてきたものを指でさわってなめようとした。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)

カ 石鹸・化粧品・歯磨き等

～『石鹸・入浴剤・歯磨き』等は、いい匂いにひかれて食べ物と間違える！～

(ア) 誤飲経験の有無

[図4-9]は、『石鹸・化粧品・歯磨き等』の誤飲経験の有無を集計した結果である。石鹸・化粧品・歯磨き等全体では、「誤飲しそうになった経験がある」が8.3%（165人）、「誤飲した経験がある」が6.4%（127人）で14.6%（292人）の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があると答えた。

品目別にみると、[図4-10]に示すとおり、『歯磨き』が2,000人中102人（誤飲しそうになった：34人、誤飲した：68人）で最も多く、次に『固形石鹸』『化粧品』が続いている。『化粧品』の種類は、『口紅』、『化粧水』などが多かった。その他の化粧品等としては、『ハンドクリーム』、『髪用の染料』『香水』などがあつた。

図4-9 誤飲経験の有無《石鹸・化粧品・歯磨き等》

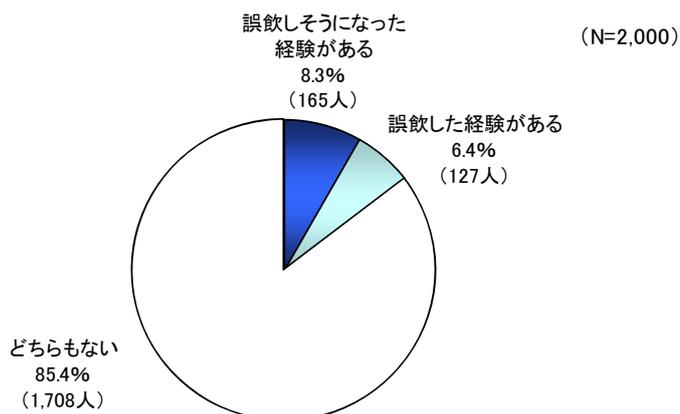
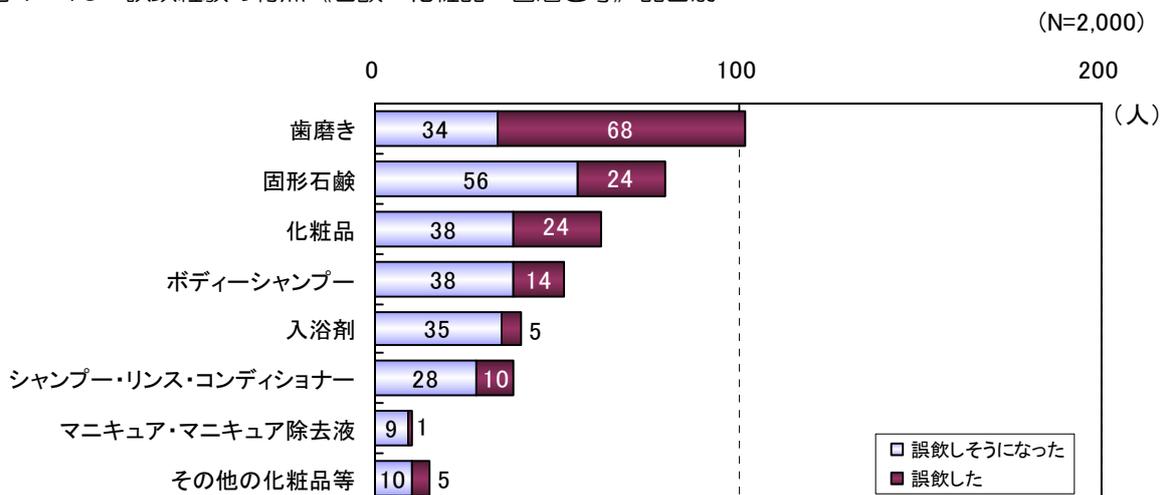


図4-10 誤飲経験の有無《石鹸・化粧品・歯磨き等》品目別



《化粧品》

番号	化粧品の種類	誤飲しそうになった経験がある	誤飲した経験がある	合計
1	口紅	9	4	13
2	化粧水	5	5	10
3	乳液	5	2	7
4	クリーム	3	3	6
5	リップクリーム	4	1	5
6	ファンデーション	2	1	3
7	マスカラ	1	2	3
8	その他(日焼け止め等)	10	5	15
	計	38	24	62

(イ) 誤飲したときの状況(自由回答記述内容)

化粧品の誤飲事例では、テーブル・机等に置いていたという事例の他、子供がポーチから出してしまう事例もあった。また、子供がふたをあけられないだろうと思って渡して遊ばせていたところ、ふたをあけてしまったという事例が6件あったので、油断は禁物である。

歯磨き、石鹸、入浴剤などを誤飲したときの状況は、大部分が歯磨き中や入浴中である。石鹸や入浴剤はいい香りがしたり、形が食べ物に似ているなど、子供が食べ物と間違えやすい。また、歯磨きは、フルーツ味などの味が気に入って、チューブごと吸ってしまう事例も多かった。入浴中や歯磨き中でもできるだけ子供から目をはなさないようにしなければならない。

《主な事例》

番号	品目	状況	年齢・性別
1	歯磨き	2歳のときに、歯磨きに興味が出てきた頃、はじめて歯磨きをさせた。 甘いフルーツ味の子供用歯磨き を使ったところ、歯磨きが終わったときに飲み込んだ。歯磨きなので、体に悪い成分は入っていないだろうとの推測で、医療機関に受診はしなかった。	男の子・2歳
2		歯磨きはいつも甘いピーチ味をつけているので美味しいと思っていたのか、大人用の歯磨きを チューブから舐めてしまった 。からいので、ひと舐めてやめたようで医療機関は受診しなかった。	女の子・2歳
3		3ヶ月ほど前、次男が1歳のとき、 娘が放置していた開けっ放しのこども歯磨き(イチゴ味)のチューブを、次男が手に握り、チューチュー吸っているのを発見 。気づいたときにすぐやめさせたが、どれくらい飲んだか不明。歯磨きだし、子供用だったので、飲んでても害がないと考え、受診はしなかった。	男の子・1歳
4	固形石鹸	チョコの香りがする ので、口に入れそうになった。	男の子・1歳
5		一歳半の息子が洗面所の石鹸を噛んでいた。変な味だったのですぐに口から出していたので水を飲ませた。色が薄茶色で、 ココナッツのにおい がするものだったので、食べられると思ったようです。	男の子・1歳
6		石鹸がお風呂場においてあったのですが、ちょうど(わたあめ)を食べた日で、「 わたあめがあるよ 」と 石鹸を口に運ぼうとしていました 。ひやりとしましたが、口をふさいで取り上げたので食べはしませんでした。	男の子・2歳
7	化粧品	大人が使っているものを何でもほしがる時期に、 ふたを開けられないと思って、遊び道具として与えてしまって、少量誤飲 してしまいました。無添加化粧水だったので、口をゆすいだけでそのまま観察しました。	男の子・1歳
8		私の母が遊びに来た時に、とても天気良かったので、日焼け止めを塗ってから外出することになり、テーブルの上に日焼け止めを置いておいたらいつの間にか持って遊んでいた。日焼け止めの蓋がひねって開けるタイプのものなので、 開けられないだろうと思って遊ばせていたら蓋を開けていた 。口に入れる手前で気づき、取り上げたので口に入れずに済んだ。	女の子・1歳
9		日焼け止めやボディクリームの入れ物が好きで 開けられないだろうと思って渡していたら 、ふたを開けていて、なかのクリームが口についていた。少しなめていたと思います。	男の子・1歳
10	ボディシャンプー	1週間ほど前、風呂で娘の体を洗っていたとき、ボディシャンプーがついた手をおしゃぶりにして口の中に入ったが、泣いて吐き出した。その後、水で洗い流してやった。	女の子・0歳(6ヶ月未満)
11		1年ほど前の8ヶ月くらいの時。入浴時に長女の髪の毛を洗っていて少し目を離した隙に、ボディソープのボトルの先端を吸っていて、思い切りボディソープを飲み、急いでシャワーで口の中を洗ったが、口内が泡だらけになってしまい、長い時間シャワーで口の中を綺麗にした。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
12		1歳頃、泡で出てくるタイプのボディシャンプーを使用していたら、 泡が食べられると思った ようで、口いっぱいに入れてしまいました。すぐに吐き出させて、牛乳を飲ませました。赤ちゃん用のボディシャンプーだったので口に入れても大丈夫とパッケージにあった為、病院へは行かなかった。	男の子・1歳
13	入浴剤	中におもちゃが入っている入浴剤で、 美味しいにおい がするのでかじってしまった。すぐにペッとさせたけど、舌がピリピリすると言っていた。医者には行かなかったが、注意をした。	男の子・2歳
14		アイスのような美味しそうでカラフルなボール型入浴剤 をお風呂に入れたとたん、手にとって食べようとした。	男の子・2歳
15	マニキュア・マニキュア除去液	私が足にペティキュアを塗っていたら色がカラフルでかわいいと思ったのか瓶ごと取り上げて口に入れそうになった。	女の子・1歳
16	その他	二ヶ月ほど前、当時二歳の息子が自宅で、妻が用意していた髪用の染料(白髪染め)の入れ物に誤って手を入れてしまい、また反射的に口にその手を持っていった。すぐに大量の水を飲ませて吐かせた。少量と判断したので、病院には行かずに様子を見た。	男の子・2歳
17		2年くらい前、ハンドソープをフルーツの香りのものに変えたとき、「美味しそう」と思った息子が歯ブラシの上ののせて口に入れ、少し飲み込んだ。本人の報告によると少量だったようなので、水や牛乳を飲ませた。	男の子・3歳

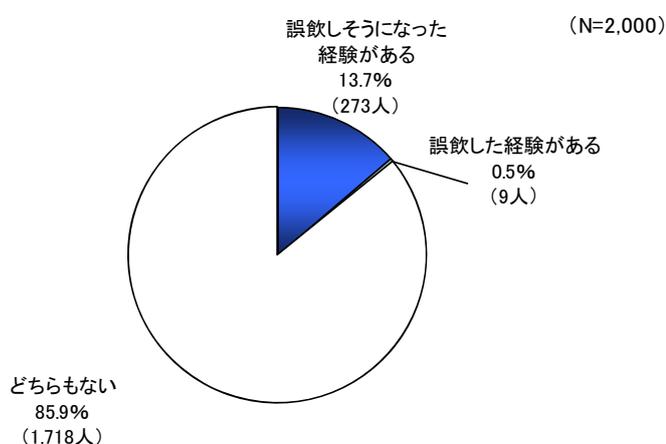
キ ペットボトルのふた

～『ペットボトルのふた』をおもちゃにしていたら、口にはまって取れなくなった！～

(ア) 誤飲経験の有無

[図4-11]は、『ペットボトルのふた』の誤飲経験の有無を集計した結果である。「誤飲しそうになった経験がある」が13.7%(273人)、「誤飲した経験がある」が0.5%(9人)で14.1%(282人)の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

図4-11 誤飲経験の有無《ペットボトルのふた》



(イ) 誤飲したときの状況(自由回答記述内容)

ペットボトルのふたを誤飲したときの状況は、「ペットボトルで遊んでいたらふたが取れた」「ペットボトルのふたをおもちゃとして遊んでいた」などが多かった。

ペットボトルのふたの誤飲事例の中には、「ふたが喉の奥にはまった」等、喉に詰まったり、むせるなどの事例が5件あった。また、「ふたを飲み込んでもがいていた」事例が1件あった。他には、「ふたが口にはまって自力で取れなくなった」事例が6件あった。ペットボトルのふたは、おもちゃとして遊ばせている事例も多いが、取り扱いには注意が必要である。



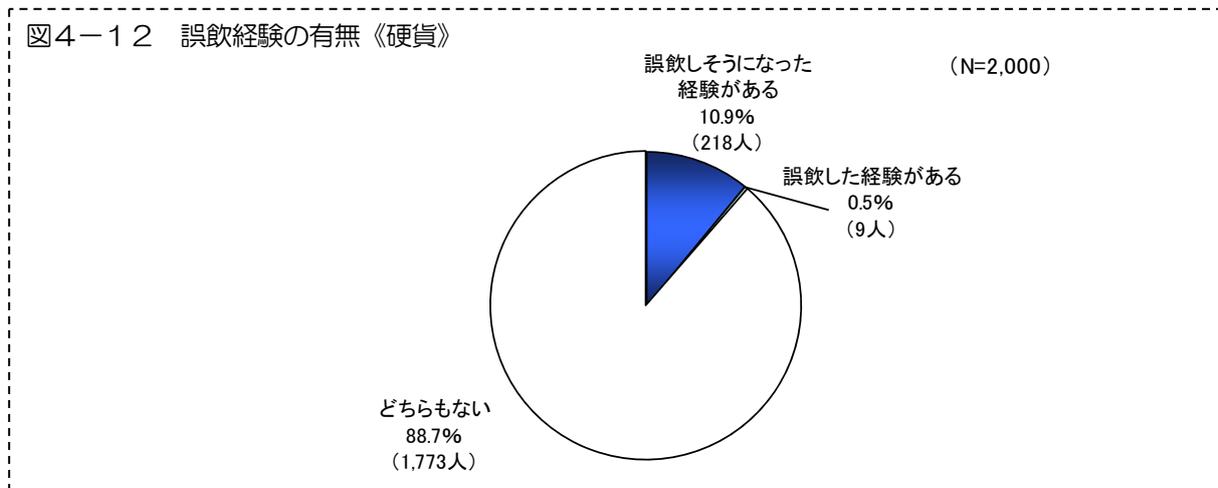
番号	状況	年齢・性別
1	上の子が2歳の時、ペットボトルの中にビーズを入れ、手作り楽器として遊ばせていた。ペットボトルのふたはかなりキツく締めてあったが、日にちが経つにつれて、少しずつ緩んだようで、ある時、気が付いたら、ペットボトルのふたを口の中に入れていた。幸い気付くのが早かったので、すぐに出させた。	女の子・2歳
2	当時1歳の娘が、おもちゃとして渡していたペットボトルのふたを口に入れていた。すぐに吐き出させたが、それ以来、手の届かないところに置くようにしている。一般的な500mlペットボトルのふたです。	女の子・1歳
3	娘が確か2歳位の時、空のペットボトルをくわえていて遊んでいたのは知っていた。いつの間にか蓋だけを口に入れていて、あっと思った時には、 <u>自分で出せない状態で気づいていた</u> 。口を大きく開かせて取り出した。口にはまってしまった状態だったので、病院は受診していない。	女の子・2歳
4	1歳5ヶ月の息子がふたを口に入れました。ボール型のおもちゃの穴とペットボトルのふたの大きさがちょうど同じくらいなので穴の中にふたを入れておもちゃとして遊んでいたところ、いつもは親が付いていて遊ぶのですがその時に限ってちょっと目を離してしまったらふたを口に入れていました。ふたが縦の状態ですっぽり喉の奥にはまってしまうオエーっオエーっ <u>と気づいていたので</u> 、これはまずいと思い、とっさに子供の背中を平手で思いっきりたたきました。そうしたら、ふたがころんと出てきました。一緒に少量嘔吐しましたがその後変わった様子もなかったので医療機関は受診しませんでした。	男の子・1歳
5	3年ほど前。2歳の息子を買物に連れて行き、自転車で帰る途中、喉が渴いたので、スーパーでペットボトルの飲み物を買い、ふたをしてそのまま子供に持たせて自転車の前輪に乗せていました。信号で止まって子供を見ると、口にペットボトルのふたをいれていました。ふたを口に入れて遊んでいるうちに緩んで、開いてしまっていたようです。あわてて出しました。	男の子・2歳
6	3歳になったばかりの去年の夏、 <u>コップ代わりにペットボトルのふたでジュースを飲もうとして、そのまま口に入れてしまった</u> 。すぐに吐き出させたため飲み込まなかった。	男の子・3歳
7	当時3歳半の長女がペットボトル飲料を自分で飲みキャップをそのままにしていたら、 <u>1歳半の長男がいつものまにか口に入れ誤って飲み込んだ。もがく様子に気づき、長男を頭を下に抱きかかえ背中をたたいて吐き出させた</u> 。地域の救急救命講習を受けた数日後の出来事だったので、動揺せずに対応できたのかもしれない。	男の子・1歳
8	1歳の息子。ペットボトルのふたを口に入れていました。飲み込める大きさではないので、 <u>口の中から出すことが出来ず</u> 、泣いて発見しました。	男の子・1歳
9	ふたを口に入れてみたら、 <u>前歯と下の歯で口から取れなくなった</u> 。なんとか取れたものの本人はビックリして怖かったらしくそれ以来やらなくなりました。	男の子・3歳
10	3年ほど前、当時2歳の長男がおとなしく一人で遊んでいると思ったら、突然「オエー」という声が出た。びっくりして見てみたら、 <u>ペットボトルのふたが喉に入りかけて気づいていた</u> 。一番冷や汗が出た誤飲だった。	男の子・2歳
11	息子が1歳になる前、ふたの閉まっているペットボトルをテーブルに置いていた。ふたの閉まっている状態で口に含み、本人も意外にふたが大きくてびっくりしたのか、 <u>顎等の力で口が開かず取れなくなりヒヤリとした</u> 。落ち着かせ外れた為、病院は受診しなかった。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
12	ゴミ箱に捨ててあったキャップを口に入れて飲み込もうとしたが苦しくて吐いた。激しく泣いたが、飲み込まなかったので医療機関には行かなかった。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)

ク 硬貨

～『硬貨』は財布から出したものを飲み込む事例が多数！鞆・財布の置き場所にも注意！～

(ア) 誤飲経験の有無

[図4 - 1 2]は、『硬貨』の誤飲経験の有無を集計した結果である。「誤飲しそうになった経験がある」が10.9% (218人)、「誤飲した経験がある」が0.5% (9人)で11.4% (227人)の保護者が硬貨の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。



(イ) 誤飲したときの状況 (自由回答記述内容)

硬貨は、「鞆の中や財布から取り出した」という事例が多かった。硬貨は、テーブルの上等子供の手の届くところに置いたままにしないのはもちろんのこと、鞆、財布の置き場所にも注意が必要である。

他には、貯金箱で遊んでいた事例が6件、自動販売機のつり銭のところから拾ったという事例も1件あった。また、「硬貨を口に入れていて、おえっとなった」「喉に引っかかった」等、喉に詰まったり、むせるなどの事例が4件あった。

本アンケートの事例にはなかったが、硬貨などの異物を誤飲して食道に引っかかり、長時間滞留した場合、食道の壁に穴が開くこともあるので注意が必要である。

《主な事例》

番号	状況	年齢・性別
1	息子が2歳になったばかりくらいの頃コインを口の中に入れていた。気づかずに過ごしていたら、直後息子が椅子から落っこちた。その衝撃でコインが喉に引っかかってしまった。逆さにして背中を叩いたらコインが出てきた。	男の子・2歳
2	子供の貯金箱があるので、そこにお金を入れていたが、遊びで投げているら開いてしまい、口に入れていた。	女の子・2歳
3	1歳になったばかりの二女が床に落ちていた1円玉を見つけて、遊んでいたらしくそのうち「おえっ」という声を聞いたため、口の中を見てみると1円玉が口の中にあった。	女の子・1歳
4	1歳のときに靴のファスナーを開けて財布を取り出し硬貨を口の中に入れていたのを発見した。ファスナーを開けられないと思っていたのでびっくりした。	男の子・1歳
5	3ヶ月前に、テーブルの上の硬貨を飲み込んだため、病院へ連れて行った	男の子・0歳(6ヶ月未満)
6	息子が1歳くらいの時、バッグの上に出したままのお財布から500円玉を出し口に入れたようです。トイレに入っていた私は、息子の「ウグッ」という声に驚いて慌てて行くと、喉に詰まっているようだったので、逆さにして背中を叩いたら、すぐに出てきた。	男の子・1歳
7	当時9ヶ月の息子が床に座っていて私のバッグをいじっていた。いつのまにか財布を出して硬貨を床にばらまいて、つかんで口に含んでいた。すぐに気づいて口の中から硬貨を出したが、財布の中の硬貨の種類も枚数も覚えていなかったため、医療機関に行ってレントゲンをとってもらった。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
8	1か月ほど前、赤ちゃん休憩室でおむつ替えをした後、歩きたがったので靴を履かせて歩かせていたら、休憩室の中にある自動販売機の釣銭の所に手をつこんで、たまたま誰かが取り忘れた10円があり、それを口の中に入れてしまった。釣銭の場所は高さが低いので、1歳の幼児でも簡単に手が届いてしまいます。もう少し高い位置にできないのでしょうか？	男の子・1歳
9	2歳のとき、どこから見つけたのかわからない10円玉を口に入れ、飲み込む寸前でした。いきなり、ジャンプをだし首を押さえていたので、すぐ口を開かせると、喉の奥に10円玉が…。あわてて頭を下にして抱え背中をたたくと、10円玉が出てきました。特に病院には行きませんでした。	女の子・2歳

ケ 乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等

～食べ物と一緒にある『乾燥剤』や冷蔵庫の中の『保冷剤』を食べ物と間違える！～

(ア) 誤飲経験の有無

[図4 - 1 3]は、『乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等』の誤飲経験の有無を集計した結果である。乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等全体では、「誤飲しそうになった経験がある」が7.0% (139人)、「誤飲した経験がある」が0.8% (16人)で7.8% (155人)の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

品目別にみると、[図4 - 1 4]に示すとおり、『保冷剤』が2,000人中66人(誤飲しそうになった：64人、誤飲した：2人)で最も多く、次に『乾燥剤・脱酸素剤(食品用)』『殺虫剤』が続いている。その他の乾燥剤等としては、『靴用の乾燥剤』などがあつた。

図4-13 誤飲経験の有無《乾燥剤・殺虫剤・保冷剤等》

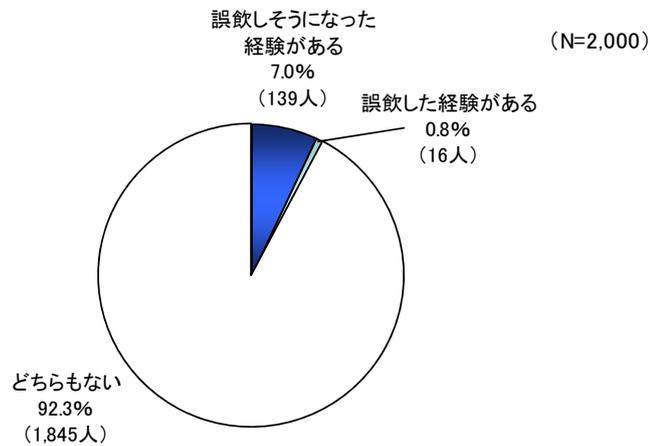
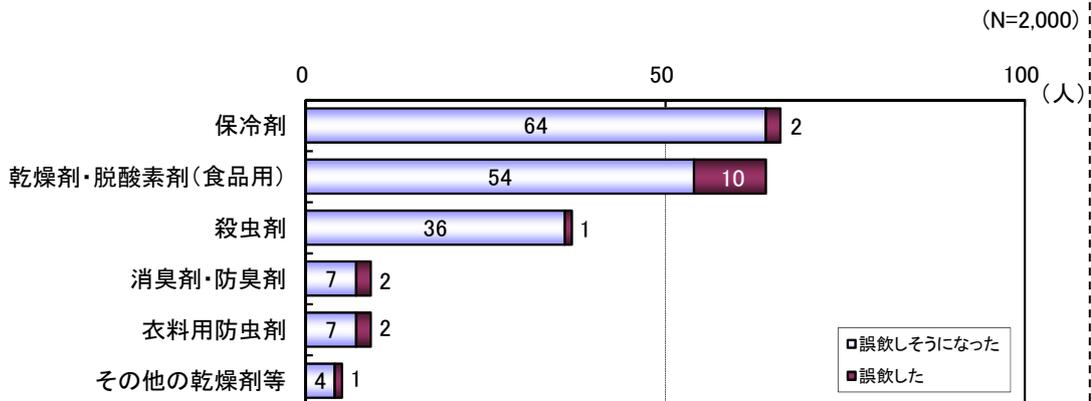


図4-14 誤飲経験の有無《乾燥剤・殺虫剤・保冷等》品目別



(イ) 誤飲したときの状況 (自由回答記述内容)

食品用の乾燥剤や保冷剤は、食べ物と間違えて食べてしまう事例が多かった。お菓子などを食べさせるときには、これらを取り除いてから食べさせるようにしなければならない。また、保冷剤は、患部を冷やすために使っていて、知らない間に子供がかじって袋をやぶいてしまう事例が5件あった。

殺虫剤や防虫剤は、「家具の隙間などに置いたまま取り除き忘れた殺虫剤や防虫剤を見つけた」事例が2件、「クローゼットの中にある防虫剤を誤飲した」事例が1件あった。子供は好奇心旺盛で、目線も低いため、いろいろなものを見つけてしまう。殺虫剤・防虫剤等見えにくいところで使用する薬品の管理は、十分気をつけなければならない。

《主な事例》

番号	品目	状況	年齢・性別
1	保冷剤	3歳の娘が2・3ヶ月前におでこにたんこぶを作ってしまう保冷剤で冷やしていたところ、気がついたら噛んでいて中のゼリー状のものが少し出ていて危うく飲み込みそうになった。	女の子・3歳
2		ケーキの箱に入っていた保冷剤を、いつの間にか口に入れて遊んでいた。すぐに取り上げたが、袋が破れてゼリー状の保冷剤が口に入っていた。急いで口をすすぎ、飲み込んでいないようだったので医療機関は受診しなかった。	男の子・2歳
3		虫さされのかゆみを冷やそうと保冷剤で冷やさせていた。そのうち暑い日だったのでおでこや顔を冷やしていたが、柔らかくなったので口に入れ噛んでいたら。口の中で袋が破れ、「ままー」と叫んだので、気づき吐き出させた。4歳の子がそんなことをすると思わずびっくりした。	女の子・4歳
4		つい、数週間前、保冷剤を冷凍庫に入れていたところ自分で取り出して、かじろうとしていました。食べ物と勘違いしたようです。プラスチックの容器に入ったタイプなので、凍った保冷剤をアイスと思ったのかもしれませんが。容器が固いので、保冷剤が口に入ることもなく、無事でした。	男の子・4歳
5	乾燥剤	クッキーに入っている乾燥剤をラムネか何かと勘違いして、あけて食べそうになった。口に入れたが美味しくなかったようで、口から出していたようなので医療機関は受診しなかった。	女の子・2歳
6		息子が1歳の時、のりが大好きで缶入りののりを食べていた。全部食べてしまい乾燥剤を口に入れていたのであわてて取り出しうがいをさせた。	男の子・1歳
7	消臭剤	9ヶ月の息子が、玄関のシューズクローゼットの下に置いていたビーズタイプの消臭剤をケースごと逆さにしてパラマキ、飛び出したビーズ状の消臭剤を口に入れようとしていた。ハイハイをしていたので低いところが目についたのでしょう。食べなかったので大事には至りませんでした。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
8	衣類用防虫剤	8ヶ月ぐらいのとき、使用済みのタンス用防虫剤が取り出した服にひっかかって床に落ちていたのに気がつかず、拾ってくわえてしまった。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
9		クローゼットの中に入って遊んでいたとき、衣類用防虫剤を見つけて誤飲してしまった。	女の子・0歳(6ヶ月未満)
10	殺虫剤等	取り除き忘れたホウ酸団子をキッチンの棚の隙間で見つけ自慢げに見せつつ食べそうになった。	男の子・1歳
11		7ヶ月になった先日、夜窓を開けて寝ていたので枕元に液体の虫除けを置いて寝ていたら、夜中泣きもせず起きた娘がそれを倒し、液体がこぼれた。その液体を手で触っていたところで気づいた。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
12		1歳頃実家の台所で、祖母も置いていたのを忘れていたくらい前のゴキブリ用の虫除けを棚の下から見つけてきて手に取っていた。医療機関は受診していない。	男の子・1歳
13		息子が1歳ごろ液体蚊取りをうっかり床に置いてしまったら、カバーを取って液体の出るスポンジのような部分をなめようとしたのであせった。	男の子・1歳

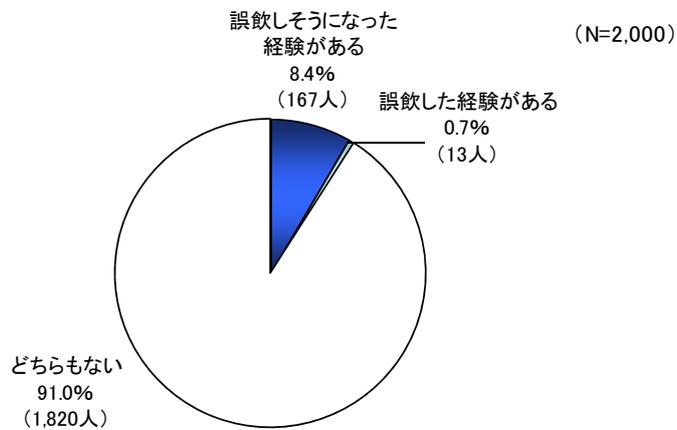
コ 電池

～『電池』交換をしている最中に、はずした電池をに口に入れる！～

(ア) 誤飲経験の有無

[図4 - 15]は、『電池』の誤飲経験の有無を集計した結果である。「誤飲しそうになった経験がある」が8.4% (167人)、「誤飲した経験がある」が0.7% (13人)で9.0% (180人)の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

図4-15 誤飲経験の有無《電池》

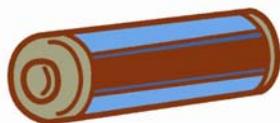


(イ) 電池の形状

「誤飲しそうになった」または「誤飲した」電池の形状は、「筒型」が 129 件で最も多く、次に「ボタン型」(コイン型も含む)が 49 件と続いている。ただし、〔表 4 - 1〕に示すように、「誤飲した」件数だけでみるとボタン型 8 件で最も多く、筒型は 3 件であった。

表 4-1 電池の形状別誤飲経験件数

		(上段:件/下段:%)						
		合計	リモコン	玩具	時計	交換用に保管していた電池(使用前の電池)	使い終わった電池(破棄する予定の電池)	その他
筒型		129	43	24	10	13	36	3
		100.0	33.3	18.6	7.8	10.1	27.9	2.3
	誤飲しそうになった経験がある	126	42	24	10	13	34	3
	誤飲した経験がある	3	1	—	—	—	2	—
ボタン型		49	1	8	2	5	29	4
		100.0	2.0	16.3	4.1	10.2	59.2	8.2
	誤飲しそうになった経験がある	41	—	7	2	4	25	3
	誤飲した経験がある	8	1	1	—	1	4	1
角型・平型		—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
	誤飲しそうになった経験がある	—	—	—	—	—	—	—
	誤飲した経験がある	—	—	—	—	—	—	—
その他		2	—	—	1	—	—	1
		100.0	—	—	50.0	—	—	50.0
	誤飲しそうになった経験がある	—	—	—	—	—	—	—
	誤飲した経験がある	2	—	—	1	—	—	1
合計		180	44	32	13	18	65	8
		100.0	24.4	17.8	7.2	10.0	36.1	4.4
	誤飲しそうになった経験がある	167	42	31	12	17	59	6
	誤飲した経験がある	13	2	1	1	1	6	2
	100.0	15.4	7.7	7.7	7.7	46.2	15.4	



筒型電池



ボタン型電池



角型電池

(ウ) 誤飲したときの状況 (自由回答記述内容)

電池は、「リモコン、玩具等で遊んでいて電池が飛び出した」等の事例が多かった。また、「電池の交換作業をしているわずかな時間に子供が電池を口に入れてしまった」等の事例が27件あった。

実際に子供が「飲み込んだ」と記述している電池の形状は、ボタン型が多く、中には「玩具に使用されたボタン型電池を口に入れ、喉に詰まって緊急手術で取り出した」という事例もあった。ボタン型の電池は子供が飲み込みやすい形状であるので、十分注意が必要である。

電池を誤飲した場合、消化管に穴が開くことがある。特に、リチウム電池は起電力が大きく、短時間で重篤な障害を生じる恐れがあるので非常に危険である。リモコン等電池を使った製品の取り扱いには十分気をつけるとともに、電池の交換作業は、子供の手が届かない場所で行い、交換済みの電池は速やかに処分することが重要である。

《主な事例》

番号	品目	状況	年齢・性別
1	使い終わった電池	捨てると思って少し高いところにボタン電池を置いていたが、 <u>椅子に登ると取れてしまう場所だったため、2歳の娘が自分で取り、飲み込んでしまった。</u>	女の子・2歳
2		息子が2歳の時に、パパが油断してテーブルの上に置いていた使用済みのボタン電池を飲んだ。	男の子・2歳
3		普段電池は手の届かない場所に置いてあるので、子供が触ることはないのですが、 <u>電池交換の時にほんの一瞬置いただけなのに</u> 、あっという間に持って行って舐めようとしていた。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
4	リモコンの電池	テレビのリモコンの電池交換をしたときに、新しい電池を取りに行った際、隠さないで席を離れてしまい、子供が電池を持ってなめていた。	女の子・1歳
5		リモコンが大好きな息子がテレビのリモコンを振り回していた所、 <u>中から電池が飛び出してきて興味津々な様子で口に入れていた。</u>	男の子・1歳
6		息子がテレビのリモコンで遊んでいて、 <u>落とした拍子に電池が外れて</u> くわえた。しばらくして気がついて取り上げた。	男の子・1歳
7	玩具の電池	2年くらい前に、電池で動くぬいぐるみの電池が切れて、娘の前で電池を交換をしている時に一瞬の間隙をついて娘が電池を口に入れて、あやうく飲み込みそうになったことがあった。アルカリ乾電池だった。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
8		おもちゃのボタン型の電池を新しいものに変えようとしているときに、横からやってきて、手にして口に入れた。気がついた時にはもぐもぐしていたのであわてて吐きださせた。	女の子・1歳
9		電車のおもちゃで遊んでいたら、電車がなんだかべたべた濡れているので <u>電池部分をあげてみたら液漏れしていてビックリ！！</u> 車体を触っていた手がべたべたで、その手をペロとなめたので、そのまま急いで口をゆすいで手もきれいに洗いました。	男の子・3歳
10		1歳になったばかりの娘がコイン電池を飲み込んだようだと言われた。すぐ調べたが口の中にはもうなく、飲み込んだのかわからなかったので救急で受診した。その時はきちんと調べてもらえず、「様子を見てください」と言われ自宅に帰ったものの、なんとなく様子がおかしく、次の日に違う病院で受診した結果、喉に電池が詰まっていて緊急手術で取り出した。 <u>喉に一日以上電池があったため、ただれてしまい一ヶ月以上入院した。</u>	女の子・1歳
11	時計の電池	ベッドサイドの時計を落とし、乾電池が出ていたのに気づかず、子供が拾って口に入れて噛んでいた。単三のアルカリ乾電池だった。	男の子・1歳

サ ポリ袋

～『ポリ袋』では遊ばせない！喉に詰まって窒息する恐れも！～

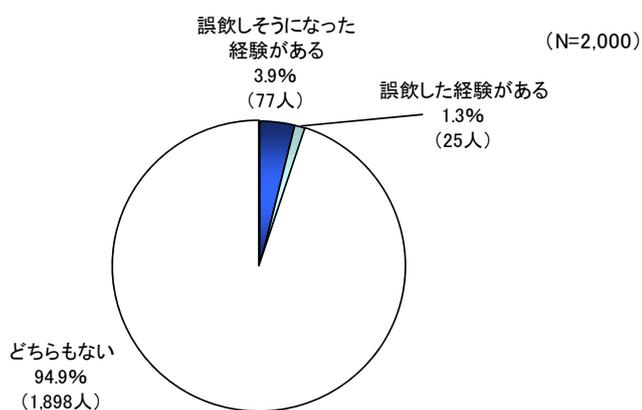
本調査では、菓子等のプラスチック製包装やレジ袋に加え、「ビニール袋」と記述されたものを「ポリ袋」として集計した。

(ア) 誤飲経験の有無

[図4-16]は、『ポリ袋』の誤飲経験の有無を集計した結果である。「誤飲しそうになった経験がある」が3.9%（77人）、「誤飲した経験がある」が1.3%（25人）で5.1%（102人）の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

『ポリ袋』の種類は、飴の包み紙やせんべいの包装等の『菓子の袋』が38件（誤飲しそうになった：26件、誤飲した：12件）と最も多く、次に『レジ袋』が続いている。

図4-16 誤飲経験の有無《ポリ袋》



《ポリ袋》

番号	ポリ袋の種類	誤飲しそうになった経験がある	誤飲した経験がある	合計
1	菓子の袋(飴の包み紙、せんべいの包装等)	26	12	38
2	レジ袋	23	7	30
3	ストローの袋	1	2	3
4	パンの袋	3	—	3
5	その他(ティッシュの袋、ラップ等)	24	4	28
	計	77	25	102



(イ) 誤飲したときの状況(自由回答記述内容)

ポリ袋は、「袋で遊んでいた」ときに口に入れた事例が多かった。また、菓子を食えるときに袋ごと食べた事例も4件あった。子供には、ポリ袋で遊ばせないようにし、菓子を食べさせるときは、包装を取ってから子供に食べさせるようにしなければならない。

ポリ袋の誤飲事例の中には、「喉に引っかかり、息ができなくなった」等、喉に詰まったり、むせるなどの事例が19件あり、救急車を呼んだ事例もあった。乳幼児は呼吸数が多く、声門(のどに位置する気道の入口)が開いている時間が長いため、気道にものを詰まらせる危険性が成人より高くなっている。ポリ袋は、子供の身近にあり、カシャカシャ音を鳴らして遊んでいる事例もあるが、一歩間違えると窒息する危険もあるので十分注意が必要である。



《主な事例》

番号	品目	状況	年齢・性別
1	菓子の包装(せんべい)	2か月前にお菓子の赤ちゃんせんべいを床であげていた。 <u>切った口の破片ビニールを飲み込んだらしく、せき込み口の中に出しては飲み込むことを繰り返してしまい、顔が真っ赤になった。</u> 体を抱き抱え、さかさまにして背中をたたいた。手を入れてどうにかとれた。目の周辺(顔の皮膚)がすこし血走ってしまっていたがすぐに泣きやみ、元気だったので病院へは行かなかった。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
2		息子が一歳の頃、おせんべいの個別包装のビニールの切れ端を飲み込もうとしてしまいました。最初は気づかず、 <u>咳こんで様子がおかしいなと思ったら、嘔吐し、ビニールも一緒に出てきました。</u> 飲み込めず、喉につかえていたのだと思います。	男の子・1歳
3		子供用おせんべいを開けずに袋のまま持たせていたら、端を噛み切って飲み込んでしまいました。 <u>喉に少し詰まっているような感じだったので吐かせて様子を見ました。</u> お正月だった事もあり病院には連れて行っていません。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
4		娘が1才くらいのときに、食事にでかけ、おやつに赤ちゃんせんべいを渡した。食べ終わった後、袋を触ってカサカサ音がするのを楽しんでいたのも、そのままにしておいた。大人が食事をしていたところ、いきなり咳き込んだので、よくみると袋の端を噛み切って飲み込んでいた。水を飲んだら落ちついたので、病院に行かず様子を見ることにした。	女の子・1歳
5	菓子の包装(飴)	7ヶ月の頃、 <u>飴の包み紙を飲み、気がつかずにいたら、咳き込んだ。</u> あわてて口に手を突っ込んだらにひっかかって取れたので安心した	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
6		6か月頃、親戚の家で子供たち(小学生)の食べていた飴の包み紙を誤飲してしまい、 <u>喉に詰まって一瞬息がとまり、慌てて取り出した。</u>	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
7		娘が2歳の時、 <u>飴をビニールに包んだまま口に入れてしまい、喉に当たって苦しそうに泣いていたので、口の中に手を入れて取り出した</u>	女の子・2歳
8	菓子の包装(その他)	8ヶ月くらいのとき、菓子の袋が <u>破けたビニールを飲み込み、喉に引っかかり息が出来なくなったため、119番通報した。</u> 電話中に喉に手を入れて掻き出したため大事には至らなかったが、一時は気を失った。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
9	レジ袋	スーパーのレジ袋を噛みちぎり、 <u>破れた破片が口の中に残り、若干呼吸困難になった。</u> 親の手で取り除いた。	男の子・1歳
10		車の中で音が楽しかったようでコンビニのレジ袋を握ってシャカシャカして遊んでいたが <u>生えかけの歯でちぎって喉に詰らせた。救急車を呼んだ。</u>	男の子・1歳
11	ストローの袋	誤飲には常に気をつけていたが、ストローの袋が風で飛んで床に落ちていて子供が拾って飲み込み、 <u>息がおかしかった。嘔吐しそうでしない、苦しうだったので、すぐに近所の病院まで連れて行き、逆さまにして背中をトントン叩いたら取れた。</u> ストローを取り出すとき切り取る、短い方の切れ端でした。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
12	弁当についてくる箸袋	旦那がコンビニ弁当を食べ、箸袋(ビニール)を切った先の部分を床に落としていたらしく、それを口にしたようです。 <u>ゴホゴホとはき出すまで口にしたことをわからず本当に焦りました。</u> 離乳食を始めた頃なので7ヶ月くらいの時です。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
13	おもちゃの包装	1歳すぎの時、おもちゃが入っているポリ袋を口に入れ、歯でちぎってしまい口の中に入ってしまったらしい。見ていなかったので全然気づかずにごはんを食べさせていたところ、 <u>急にむせたり、苦しうな表情をした。背中をトントン叩くと、食べた物を吐き出し、その中にポリ袋の破片が入っていた。</u> そこで気がついてびっくりした。吐き出した後はとくに変わった様子もないので医療機関は受診しなかった。	男の子・1歳
14	シールの包装	上の子供が買ったシールの入っていた袋の切れ端を飲み込んで喉に引っかかったらしく、 <u>すごい勢いで泣いていた。</u> 最初はなんで泣いているのか分からなかったがシールの袋が近くにあったので気がついて、喉に手を入れたが取れず、そのうち飲み込めたのか泣きつかれて眠ってしまったので様子を見た。翌日の朝ウンチと共に出てきたのでほっとした。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
15	綿棒の包装	9ヶ月の時、おもちゃ代わりに遊んでいた綿棒の空き容器のビニール製パッケージを誤飲した。最初、両親とも誤飲したことはわかったけれど、口をあけさせて良く見たが、確認できず、病院で診察してもらったが、そこではもう飲み込んでしまって喉にはないと診断された。帰宅しても様子が変だったので、母親の私がようやく喉に貼り付いた破片を見つけ素手でガーゼなどを使って取り出せた。傷などがなくてほっとした。医師の診察はあてにならない。やっぱり、日ごろの親の勤や確信が大事。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)

シ 洗剤・漂白剤等

～ペットボトルに入れた『洗剤』を飲み物と間違える！～

(ア) 誤飲経験の有無

[図4-17]は、『洗剤・漂白剤等』の誤飲経験の有無を集計した結果である。洗剤・等全体では、「誤飲しそうになった経験がある」が1.6%(32人)、「誤飲した経験がある」が0.7%(13人)で2.3%(45人)の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。

品目別にみると、[図4-18]に示すとおり、『風呂用洗剤』が2,000人中17人(誤飲しそうになった:16人、誤飲した:1人)で最も多く、次に『食器洗い洗剤』、『衣料用洗剤』が続いている。その他の洗剤等としては、『柔軟剤』などがあつた。

図4-17 誤飲経験の有無《洗剤・漂白剤等》

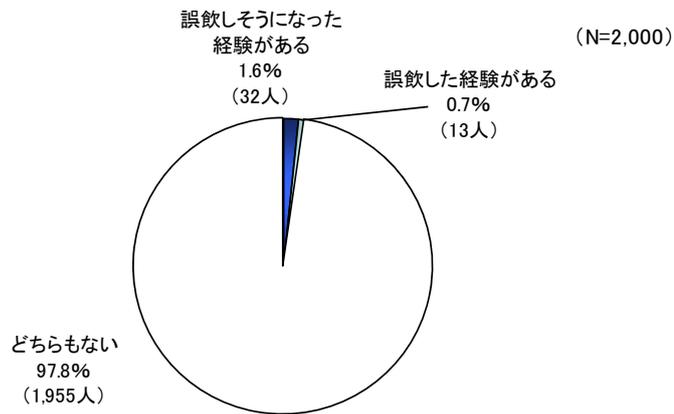
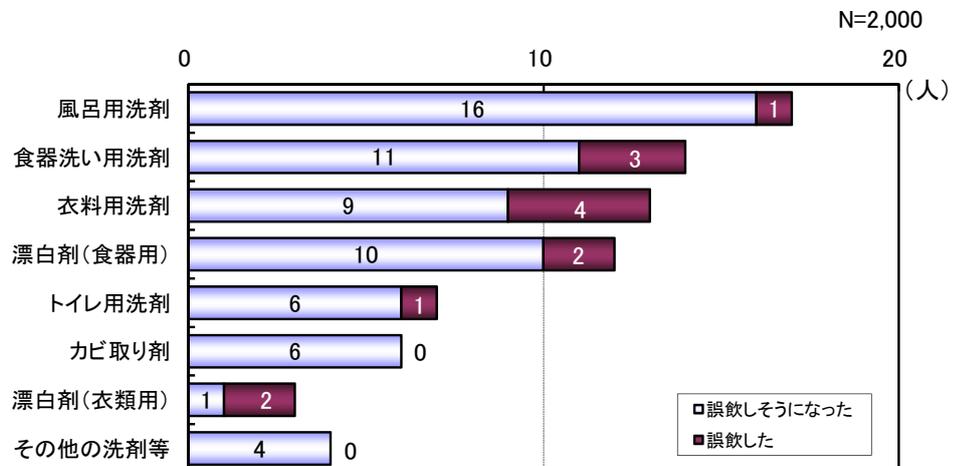


図4-18 誤飲経験の有無《洗剤・漂白剤等》品目別



(イ) 誤飲したときの状況 (自由回答記述内容)

洗剤、漂白剤は、「目を離した際に口に入れていた」等の事例が多かった。他には、「ペットボトルに入れた食器洗い洗剤を水と間違えて飲んだ」、「コップを消毒液につけている最中に、水と間違えて飲んだ」などの事例があった。

洗剤をペットボトルに入れるなど紛らわしい使い方は避け、漂白剤・消毒液等に食器を浸している最中は、子供が台所に近づかないように気をつけ、もし近づいたら一声かけることが必要である。

《主な事例》

番号	品目	状況	年齢・性別
1		2歳になってすぐのごろ、お風呂掃除後、洗剤を置きっぱなしにしている、子供が見つけたマネをして遊んでいるうちに出てしまい、口に入れていた。吐くこともしなかったため、しばらく様子を見て過ごした。	男の子・2歳
2	風呂用洗剤	一緒にお風呂に入っており、髪の毛を洗っていて目を離したすきに、お風呂用洗剤のふたを開け、飲もうとしていたが、すぐ気づき、飲む前にとめた。	男の子・1歳
3		風呂にて。複数の子を1人で入浴させるため、目が届かないことがある。夫が置いていた風呂用洗剤のスプレーを口にくわえていた。スプレーの出口を口にくわえていたことは、何度もある。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
4	食器洗い用洗剤	2歳位の時、二人目が生まれるので実家に帰っていた時、夕飯の準備をしていた、祖母の隣で子供が水をいじっていた時、ペットボトルに入れてあった食器洗い用洗剤を、水だと思い飲んでしまった。あまり泣かず、同時にウトウトしたり、あくびをするので心配で救急病院に行った。先生の受診の時には、元気だったようで、「美味しかったの」と聞かれると、嬉しそうに「うん」と言っていた。	男の子・2歳
5		息子が1歳のころ、洗い物をしているときに、たまたま流し台の上に置いた食器洗剤のボトルを息子が取り、逆さにしてジュースを飲むように口に入れていた。すぐに気がつき、取り上げたものの、しばらくゲホゲホせき込んでいたので、病院で受診したが、「様子を見ましょう」ということで家に帰った。3時間ぐらいでせきもおさまった。	男の子・1歳
6	衣料用洗剤	ハイハイでどこでも移動できるようになっていた8～9ヶ月くらいの頃、少し目を離したら洗面所で洗濯洗剤をわしづかみにして食べていた。すぐに気づき、口を拭き、まだうがいなど出来ない時だったので水を飲ませた。ケロッとしているので、すぐに受診せず少し様子を見ようと思っていた。その後も体調や便に変化がなかったため、結局病院には行かなかった。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
7		息子が2歳位の時、漂白剤の容器の蓋を開け口にしていた。どれ位飲んだかは不明だが、口へ指を入れ吐かせ、病院で胃の洗浄をして帰宅した。	男の子・2歳
8	漂白剤等(食器用)	1歳8ヶ月頃洗面所の洗面台の下の戸棚に洗剤類をしまっていたが、子供の扉開閉防止のロックを取って開けていた。ロックを掛けていた為安心していましたが、吸盤タイプのものは力がかかると意外と簡単に取れてしまうようだった。飲み込みそうになったのは台所用の漂白剤だった。	男の子・1歳
9		娘が三歳の時、娘のコップを消毒液につけておいたら、それを知らない娘が水だと思い飲んだ。口に含みすぐ出したが、そのまま医療機関を受診した。	女の子・3歳
10	トイレ用洗剤	トイレに置いてあったトイレ用中性洗剤のふたをまわして取って、中身を出して遊んでいた。口には入れていなかったが、手には洗剤がついていたので、手をなめたりしたらちょっと危ないなと思った。	男の子・1歳
11	カビ取り剤	りんごジュースを流しにおいたまま、出勤し帰宅すると、ありが大量発生。駆除にカビ取り剤を使っていたところ、ありがとの格闘で目をはなした際に、床においてあったカビキラーを持ち、ノズルを口にくわえようとしていたので、とっさにとりあげた。	男の子・1歳

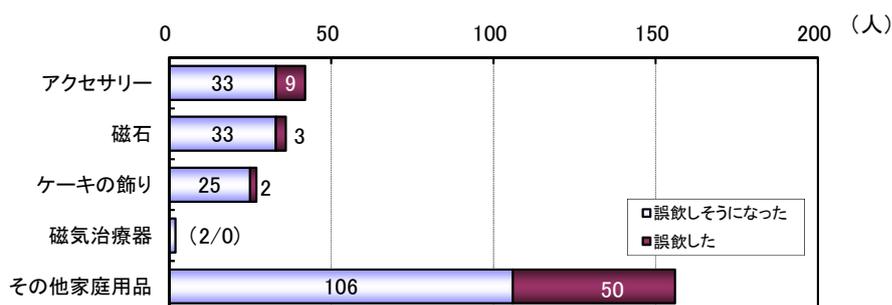
ス その他

(ア) 誤飲経験の有無

その他の品目では、[図4-19]に示すとおり、『アクセサリ』が2,000人中42人（誤飲しそうになった：33人、誤飲した：9人）で最も多く、次に『磁石』、『ケーキの飾り』が続いている。その他の家庭用品としては、『携帯ストラップ』、『消しゴム』、『クリップ』などがあつた。

図4-19 誤飲経験の有無《その他》品目別

N=2,000



番号	その他	誤飲しそうになった経験がある	誤飲した経験がある	合計
1	アクセサリ	33	9	42
2	磁石	33	3	36
3	ケーキの飾り	25	2	27
4	磁気治療器	2	0	2
5	その他の家庭用品	106	50	156
	①携帯ストラップ	15	5	20
	②消しゴム	17	3	20
	③クリップ	9	—	9
	④ペン	9	—	9
	⑤輪ゴム	4	4	8
	⑥ペットのえさ	5	3	8
	⑦ボタン	2	5	7
	⑧石・砂・土	2	3	5
	⑨携帯	2	2	4
	⑩キーホルダー	2	2	4
	⑪画鋲	3	1	4
	⑫その他(ひも、箸置き、クレヨン等)	36	22	58

(イ) 誤飲したときの状況（自由回答記述内容）

アクセサリでは、子供用の『ヘアピン』や『ヘアゴム』が21件と最も多かった。次に「指輪」が続いている。アクセサリの多くのものは、乳幼児が容易に口の中に入れることができる大きさなので、乳幼児の手が届かない場所に保管するなどの注意が必要である。

磁石では、「冷蔵庫につけたマグネット」が29件と最も多かった。万が一、2つ以上の磁石や、磁石と金属とを一緒に飲み込んでしまうと、それらが腸壁を挟んで貼りつくことで腸に穴を開けてしまうなど、重い障害をひき起こす恐れがあるため、乳幼児から遠ざけて使用することが重要である。

《主な事例》

番号	品目	状況	年齢・性別
1	携帯電話のストラップ	携帯電話に付いているストラップを舐めているうちに、端の方についている小さなビーズを飲み込んだと思われる。翌日便で出てきたため病院には行っていない。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
2	消しゴム	3歳の息子。歯科医院でもらった、 香り付きのイチゴの形をした消しゴム を口の中に入れた。もごもごしていたが、イチゴではないと思ったらしく吐き出した。	男の子・3歳
3	クリップ	ベビーカーにクリップでひざかけをとめていたらひっぱって外して口にに入れていた。口の中切ってしまった。1時間くらいで血がとまったので病院へはいきませんでした。	女の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
4	ボタン	当時3歳の息子がボタンを鼻に詰めて遊んでいたので注意したところ、 なぜかボタンを鼻の奥に押し込みそのまま喉に落ちてしまった 。大学病院の夜間救急を受診した。手術することになったが、ボタンが食道に落ちて胃に入ったらしく、様子見となった。そのまま入院。	男の子・3歳
5	指輪	父親の指から結婚指輪を抜き取り、ふざけて口に放り込みました。そのまま後ろに転がったのでうっかり飲みこんでしまったようです。指輪は2日後に便に混ざって出てきました。	男の子・6歳
6	磁石	冷蔵庫についていた磁石付きのもので遊んでいたら磁石だけが取れ、それを口に入れたようです。 喉で引っかかり 、主人がさかさまにではかせてくれました。	男の子・3歳
7	磁気治療器	私の背中にはった磁気治療器を拾ってなめる直前に私が見つけた。	女の子・1歳
8	セロテープ	1人でおもちゃの袋についていたセロテープをはがし、丸めたものを飲み込んだ。 様子がおかしく、息遣いがあらかったので口をあけさせると、喉の奥につまっていたので取り出した 。医療機関は受診しなかった。	男の子・1歳
9	スプーン	2年ほど前、息子が8ヶ月くらいの時にカフェでお茶をして、くずった息子にカフェで使われるプラスチックのスプーンを渡したら機嫌が直ったので、小さくて飲み込む心配はなかったし、そのまま遊ばせたら長かったスプーンを口の中に入れて遊んで少し刺さったようで泣きました。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
10	ホチキスの針	普段はホチキスの置いてある棚は、ベビーのいたずら対策に簡単にあげられないストッパーがついてあるが、長子(5歳)はあけられるので、あげたあと閉めずにいるところを一歳半の息子が中にあるホチキスを持ち出し、落とした拍子に外れたホチキス針を口に入れた。飲み込まなかったが、 先がとがっているので刺さったようで、歯茎から少し出血した 。	男の子・1歳
11	新しい靴下についている金具	7か月くらいの頃新しい靴下を下ろした時、靴下を止めていた金具がすっ飛んでしまい、探したが見つからなかったのをそのままにしていたら、しばらくたって息子が急にせき込んだのでおかしいを思い、口の中をみたら靴下の金具が出てきた。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
12	クリスマスツリーの飾り	半年ほど前、次男が9ヶ月のとき、目を放した際にクリスマスツリーの飾りを口に入れてしまい、むせているのを発見、口に指を入れて吐かせようとしたが吐かず、指に触れたので出そうとしたが飲み込んでしまった。直径5mmほどのプラスチック製だったが、気道に入ってしまったかもしれないと思い、念のため救急を受診した。レントゲンを撮ったが気道にはいりなかった。	男の子・0歳(6ヶ月～1歳未満)
13	カーテンレールのクリップ	カーテンを洗濯し、カーテンレールを外して机の上に置いていたら、突然泣き出したので、口の中を見たらカーテンレールを口に含んで口の中につかえていたので、取り出しました。	女の子・1歳
14	椅子の足の裏にはる衝撃吸収ゴム	ハイハイをしている時に、ゴムのパッドを飲み込んでしまった。喉に詰まって息ができなくなったが、背中を叩いて吐き出させた。	女の子・1歳

4. まとめ

- (1) 0歳～6歳の子供の保護者 2,000人を対象に、子供の年齢が0歳～6歳までの間の誤飲経験の有無を調査した。「誤飲しそうになった経験がある」が40.4%（807人）、「誤飲した経験がある」が35.3%（705人）で75.6%（1,512人）の保護者が子供の誤飲に関して、「誤飲しそうになった」または「誤飲した」経験があるという結果であった。
- (2) 誤飲の対象となった品目は、『紙類』が最も多く、次いで『シール』、『シャボン玉液』と続いている。
- (3) 誤飲して医療機関を受診した品目は、『タバコ』が最も多く、次に『医薬品』、『ビー玉』と続いている。
- (4) 誤飲時の年齢は、「1歳」が最も多く、次に「0歳」と続いている。男女別では、「男の子」のほうが多くなっている。
- (5) 『紙』、『シール』、『ポリ袋』等は、喉に詰まったり、喉の奥に貼り付いた事例が報告された。これらの中には、「息ができなくなった」という事例もあり、一歩間違えると窒息する危険があることを十分認識することが大切である。

5. 結果の活用

- (1) 乳幼児の誤飲事故を防止するためのポイントをまとめた「乳幼児の誤飲事故防止ガイド」により、都民へ情報提供する。
- (2) 収集したヒヤリ・ハット体験を商品テスト等安全性に関する調査実施時に活用を図る。
- (3) 国・事業者団体等へ調査結果を情報提供する。